

第五十六回帝國議會
衆議院

鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄(速記)第二十回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
地方鐵道法中改正法律案(政府提出)
軌道法中改正法律案(政府提出)
非訟事件手續法中改正法律案(政府提出)
鐵道營業法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和四年三月十五日(金曜日)午前十一時八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 若宮 貞夫君

理事 熊谷 巖君

理事 田中千代松君

佐竹直太郎君 豐田 収君

上條 信君 菅野善右衛門君

沖島 鎌三君 山本 慎平君

坂本志魯雄君 横山金太郎君

木村三四郎君 神部 爲藏君

工藤 鐵男君 岸 衛君

高島 順作君

同月十四日委員井上剛一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ岸衛君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十五日委員小山寬藏君及山下谷次君辭任ニ付其ノ補闕トシテ菅野善右衛門君及坂本志魯雄君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

鐵道參與官 志賀和多利君

鐵道省監督局長 福富 正男君

鐵道省運輸局長 筧 正太郎君

鐵道省建設局長男爵 中村 謙一君

鐵道省工務局長 加賀山 學君

鐵道省經理局長 矢田部良造君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

鐵道書記官 喜安健次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地方鐵道法中改正法律案(政府提出)

軌道法中改正法律案(政府提出)

非訟事件手續法中改正法律案(政府提出)

鐵道營業法中改正法律案(政府提出)

○若宮委員長 開會致シマス、本委員會ハ去スル二月二日以來本日デ會ヲ重

會ハ去スル二十回ニ及ビマシテ、委員各位御心勞ノ程洵ニ御推察ヲ申上ゲル次第デアリマス、段々會期切迫ノ今日デ

アリマスルガ故ニ、併託サレテ居リマスル所ノ此四法案共ニ願クハ本日ヲ以

テ質疑ヲ終了シテ、明日ハ討論採決ニ及ブ豫定ヲ以テ御進メヲ願ヒタイト考

ヘマス、就キマシテハ、尙一案政府ノ説明ヲ承ッテ居ラヌ案件ガアリマスルガ

故ニ、先以テ其御説明カラ承リタイト思ヒマス

○志賀政府委員 只今御宣告ノ鐵道營業法中改正法律案ニ關スル提案ノ理由

ハ、本會議ニ於テ大臣ヨリ申上ゲマシタガ、尙此場合改メマシテ申上ゲタイ

ト思ヒマス、現行ノ鐵道營業法ハ制定以來三十年ヲ經過致シマシテ、時勢ニ

適合セザルモノガ出テ參ッタノデアリマス、本法案ハ之ヲ改正セントスルモ

ノデアリマス、其改正ノ要點ヲ舉ゲマ

スルト、次ノ如ク相成リマス、改正ノ第一點ハ、要償額表示ノ制度ヲ設ケタコ

トデアリマス、其制度ノ特徵ハ次ノ二點ニ存スルデアリマス、一ツハ旅客

荷主ガ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損又ハ延著ニ因リ受ケタル一切ノ

損害ニ對スル賠償ヲ受ケ得ルコトガ其一ツデアリマシテ、商法ニ於キマシテ

ハ到著時ノ價格ヲ限度ト致シマス、又鐵道ニ於キマシテハ、從來託送手荷物

ヲ旅客一人ニ付百圓ヲ限度トシテ賠償スルニ過ギナイ制限ガアッタノデアリ

マスルガ、今回ノ改正デハ要償額別ニ要求スル額ヲ豫メ表示スルコトニ依リ

マシテ、其賠償ノ範圍ヲ擴張シタノデアリマス、第二ニハ損害賠償ヲ請求ス

スガ、託送手荷物、高價品及動物ニ付キマシテハ、鐵道運輸規定ニ依リ定ムル額ヲ限度トシテ賠償額ヲ支拂フコトニナルデアリマス、此點ハ託送手荷物及獸類ニ付キマシテハ、現行法ト同趣旨ニナルデアリマスガ、右ノ趣旨ヲ新ニ高價品ニ推廣セルコトニ致シマシタ、第二ノモノ、即チ改正ノ第二點ハ、引渡期間ヲ定メ運送期間ヲ法律ヲ以テ規定スル、即チ法律上定ムルコトニナ

タノデアリマス、即チ之ニ依テ延著トナリマシタ場合ト、然ラザル場合トヲ一見明白ナラシメタ次第デアリマス、而シテ延著ニ依リマスル損害賠償額ニ付テハ、從來學問上疑義ノアツタ所デ、實際ノ取扱上甚ダ不便デアリマシタカラ、今回ノ改正案ニ依リマシテハ、其最高額ヲ定メマシテ、其範圍内ニ於テ延著ノ日數ニ應ジマシテ、運輸規定ヲ以テ之ヲ定ムルコト、致シタノデアリマス、第三即チ改正ノ第三點ハ、引渡期間

滿了後、一月ヲ經過スルモ引渡スコトノ出來ナイ託送手荷物、又ハ運送品ハ之ヲ權利者ニ於テ滅失シタルモノト看做シテ、損害賠償ヲ請求シ得ベキモノト致シ、之ニ依テ、其間ノ紛爭ヲ迅速ニ結了セシムルコト、シタ點デアリマス、而シテ時トシテハ手荷物又ハ運送

品ハ、託送手荷物、高價品及動物ニ付キマシテハ、鐵道運輸規定ニ依リ定ムル額ヲ限度トシテ賠償額ヲ支拂フコトニナルデアリマス、此點ハ託送手荷物及獸類ニ付キマシテハ、現行法ト同趣旨ニナルデアリマスガ、右ノ趣旨ヲ新ニ高價品ニ推廣セルコトニ致シマシタ、第二ノモノ、即チ改正ノ第二點ハ、引渡期間ヲ定メ運送期間ヲ法律ヲ以テ規定スル、即チ法律上定ムルコトニナ

タノデアリマス、即チ之ニ依テ延著トナリマシタ場合ト、然ラザル場合トヲ一見明白ナラシメタ次第デアリマス、而シテ延著ニ依リマスル損害賠償額ニ付テハ、從來學問上疑義ノアツタ所デ、實際ノ取扱上甚ダ不便デアリマシタカラ、今回ノ改正案ニ依リマシテハ、其最高額ヲ定メマシテ、其範圍内ニ於テ延著ノ日數ニ應ジマシテ、運輸規定ヲ以テ之ヲ定ムルコト、致シタノデアリマス、第三即チ改正ノ第三點ハ、引渡期間

滿了後、一月ヲ經過スルモ引渡スコトノ出來ナイ託送手荷物、又ハ運送品ハ之ヲ權利者ニ於テ滅失シタルモノト看做シテ、損害賠償ヲ請求シ得ベキモノト致シ、之ニ依テ、其間ノ紛爭ヲ迅速ニ結了セシムルコト、シタ點デアリマス、而シテ時トシテハ手荷物又ハ運送

品ハ、託送手荷物、高價品及動物ニ付キマシテハ、鐵道運輸規定ニ依リ定ムル額ヲ限度トシテ賠償額ヲ支拂フコトニナルデアリマス、此點ハ託送手荷物及獸類ニ付キマシテハ、現行法ト同趣旨ニナルデアリマスガ、右ノ趣旨ヲ新ニ高價品ニ推廣セルコトニ致シマシタ、第二ノモノ、即チ改正ノ第二點ハ、引渡期間ヲ定メ運送期間ヲ法律ヲ以テ規定スル、即チ法律上定ムルコトニナ

タノデアリマス、即チ之ニ依テ延著トナリマシタ場合ト、然ラザル場合トヲ一見明白ナラシメタ次第デアリマス、而シテ延著ニ依リマスル損害賠償額ニ付テハ、從來學問上疑義ノアツタ所デ、實際ノ取扱上甚ダ不便デアリマシタカラ、今回ノ改正案ニ依リマシテハ、其最高額ヲ定メマシテ、其範圍内ニ於テ延著ノ日數ニ應ジマシテ、運輸規定ヲ以テ之ヲ定ムルコト、致シタノデアリマス、第三即チ改正ノ第三點ハ、引渡期間

滿了後、一月ヲ經過スルモ引渡スコトノ出來ナイ託送手荷物、又ハ運送品ハ之ヲ權利者ニ於テ滅失シタルモノト看做シテ、損害賠償ヲ請求シ得ベキモノト致シ、之ニ依テ、其間ノ紛爭ヲ迅速ニ結了セシムルコト、シタ點デアリマス、而シテ時トシテハ手荷物又ハ運送

品ハ、託送手荷物、高價品及動物ニ付キマシテハ、鐵道運輸規定ニ依リ定ムル額ヲ限度トシテ賠償額ヲ支拂フコトニナルデアリマス、此點ハ託送手荷物及獸類ニ付キマシテハ、現行法ト同趣旨ニナルデアリマスガ、右ノ趣旨ヲ新ニ高價品ニ推廣セルコトニ致シマシタ、第二ノモノ、即チ改正ノ第二點ハ、引渡期間ヲ定メ運送期間ヲ法律ヲ以テ規定スル、即チ法律上定ムルコトニナ

タノデアリマス、即チ之ニ依テ延著トナリマシタ場合ト、然ラザル場合トヲ一見明白ナラシメタ次第デアリマス、而シテ延著ニ依リマスル損害賠償額ニ付テハ、從來學問上疑義ノアツタ所デ、實際ノ取扱上甚ダ不便デアリマシタカラ、今回ノ改正案ニ依リマシテハ、其最高額ヲ定メマシテ、其範圍内ニ於テ延著ノ日數ニ應ジマシテ、運輸規定ヲ以テ之ヲ定ムルコト、致シタノデアリマス、第三即チ改正ノ第三點ハ、引渡期間

滿了後、一月ヲ經過スルモ引渡スコトノ出來ナイ託送手荷物、又ハ運送品ハ之ヲ權利者ニ於テ滅失シタルモノト看做シテ、損害賠償ヲ請求シ得ベキモノト致シ、之ニ依テ、其間ノ紛爭ヲ迅速ニ結了セシムルコト、シタ點デアリマス、而シテ時トシテハ手荷物又ハ運送

品ハ、託送手荷物、高價品及動物ニ付キマシテハ、鐵道運輸規定ニ依リ定ムル額ヲ限度トシテ賠償額ヲ支拂フコトニナルデアリマス、此點ハ託送手荷物及獸類ニ付キマシテハ、現行法ト同趣旨ニナルデアリマスガ、右ノ趣旨ヲ新ニ高價品ニ推廣セルコトニ致シマシタ、第二ノモノ、即チ改正ノ第二點ハ、引渡期間ヲ定メ運送期間ヲ法律ヲ以テ規定スル、即チ法律上定ムルコトニナ

タノデアリマス、即チ之ニ依テ延著トナリマシタ場合ト、然ラザル場合トヲ一見明白ナラシメタ次第デアリマス、而シテ延著ニ依リマスル損害賠償額ニ付テハ、從來學問上疑義ノアツタ所デ、實際ノ取扱上甚ダ不便デアリマシタカラ、今回ノ改正案ニ依リマシテハ、其最高額ヲ定メマシテ、其範圍内ニ於テ延著ノ日數ニ應ジマシテ、運輸規定ヲ以テ之ヲ定ムルコト、致シタノデアリマス、第三即チ改正ノ第三點ハ、引渡期間

滿了後、一月ヲ經過スルモ引渡スコトノ出來ナイ託送手荷物、又ハ運送品ハ之ヲ權利者ニ於テ滅失シタルモノト看做シテ、損害賠償ヲ請求シ得ベキモノト致シ、之ニ依テ、其間ノ紛爭ヲ迅速ニ結了セシムルコト、シタ點デアリマス、而シテ時トシテハ手荷物又ハ運送

品ハ、託送手荷物、高價品及動物ニ付キマシテハ、鐵道運輸規定ニ依リ定ムル額ヲ限度トシテ賠償額ヲ支拂フコトニナルデアリマス、此點ハ託送手荷物及獸類ニ付キマシテハ、現行法ト同趣旨ニナルデアリマスガ、右ノ趣旨ヲ新ニ高價品ニ推廣セルコトニ致シマシタ、第二ノモノ、即チ改正ノ第二點ハ、引渡期間ヲ定メ運送期間ヲ法律ヲ以テ規定スル、即チ法律上定ムルコトニナ

タノデアリマス、即チ之ニ依テ延著トナリマシタ場合ト、然ラザル場合トヲ一見明白ナラシメタ次第デアリマス、而シテ延著ニ依リマスル損害賠償額ニ付テハ、從來學問上疑義ノアツタ所デ、實際ノ取扱上甚ダ不便デアリマシタカラ、今回ノ改正案ニ依リマシテハ、其最高額ヲ定メマシテ、其範圍内ニ於テ延著ノ日數ニ應ジマシテ、運輸規定ヲ以テ之ヲ定ムルコト、致シタノデアリマス、第三即チ改正ノ第三點ハ、引渡期間

滿了後、一月ヲ經過スルモ引渡スコトノ出來ナイ託送手荷物、又ハ運送品ハ之ヲ權利者ニ於テ滅失シタルモノト看做シテ、損害賠償ヲ請求シ得ベキモノト致シ、之ニ依テ、其間ノ紛爭ヲ迅速ニ結了セシムルコト、シタ點デアリマス、而シテ時トシテハ手荷物又ハ運送

品ハ、託送手荷物、高價品及動物ニ付キマシテハ、鐵道運輸規定ニ依リ定ムル額ヲ限度トシテ賠償額ヲ支拂フコトニナルデアリマス、此點ハ託送手荷物及獸類ニ付キマシテハ、現行法ト同趣旨ニナルデアリマスガ、右ノ趣旨ヲ新ニ高價品ニ推廣セルコトニ致シマシタ、第二ノモノ、即チ改正ノ第二點ハ、引渡期間ヲ定メ運送期間ヲ法律ヲ以テ規定スル、即チ法律上定ムルコトニナ

タノデアリマス、即チ之ニ依テ延著トナリマシタ場合ト、然ラザル場合トヲ一見明白ナラシメタ次第デアリマス、而シテ延著ニ依リマスル損害賠償額ニ付テハ、從來學問上疑義ノアツタ所デ、實際ノ取扱上甚ダ不便デアリマシタカラ、今回ノ改正案ニ依リマシテハ、其最高額ヲ定メマシテ、其範圍内ニ於テ延著ノ日數ニ應ジマシテ、運輸規定ヲ以テ之ヲ定ムルコト、致シタノデアリマス、第三即チ改正ノ第三點ハ、引渡期間

滿了後、一月ヲ經過スルモ引渡スコトノ出來ナイ託送手荷物、又ハ運送品ハ之ヲ權利者ニ於テ滅失シタルモノト看做シテ、損害賠償ヲ請求シ得ベキモノト致シ、之ニ依テ、其間ノ紛爭ヲ迅速ニ結了セシムルコト、シタ點デアリマス、而シテ時トシテハ手荷物又ハ運送

品ハ、託送手荷物、高價品及動物ニ付キマシテハ、鐵道運輸規定ニ依リ定ムル額ヲ限度トシテ賠償額ヲ支拂フコトニナルデアリマス、此點ハ託送手荷物及獸類ニ付キマシテハ、現行法ト同趣旨ニナルデアリマスガ、右ノ趣旨ヲ新ニ高價品ニ推廣セルコトニ致シマシタ、第二ノモノ、即チ改正ノ第二點ハ、引渡期間ヲ定メ運送期間ヲ法律ヲ以テ規定スル、即チ法律上定ムルコトニナ

タノデアリマス、即チ之ニ依テ延著トナリマシタ場合ト、然ラザル場合トヲ一見明白ナラシメタ次第デアリマス、而シテ延著ニ依リマスル損害賠償額ニ付テハ、從來學問上疑義ノアツタ所デ、實際ノ取扱上甚ダ不便デアリマシタカラ、今回ノ改正案ニ依リマシテハ、其最高額ヲ定メマシテ、其範圍内ニ於テ延著ノ日數ニ應ジマシテ、運輸規定ヲ以テ之ヲ定ムルコト、致シタノデアリマス、第三即チ改正ノ第三點ハ、引渡期間

滿了後、一月ヲ經過スルモ引渡スコトノ出來ナイ託送手荷物、又ハ運送品ハ之ヲ權利者ニ於テ滅失シタルモノト看做シテ、損害賠償ヲ請求シ得ベキモノト致シ、之ニ依テ、其間ノ紛爭ヲ迅速ニ結了セシムルコト、シタ點デアリマス、而シテ時トシテハ手荷物又ハ運送

品ハ、託送手荷物、高價品及動物ニ付キマシテハ、鐵道運輸規定ニ依リ定ムル額ヲ限度トシテ賠償額ヲ支拂フコトニナルデアリマス、此點ハ託送手荷物及獸類ニ付キマシテハ、現行法ト同趣旨ニナルデアリマスガ、右ノ趣旨ヲ新ニ高價品ニ推廣セルコトニ致シマシタ、第二ノモノ、即チ改正ノ第二點ハ、引渡期間ヲ定メ運送期間ヲ法律ヲ以テ規定スル、即チ法律上定ムルコトニナ

タノデアリマス、即チ之ニ依テ延著トナリマシタ場合ト、然ラザル場合トヲ一見明白ナラシメタ次第デアリマス、而シテ延著ニ依リマスル損害賠償額ニ付テハ、從來學問上疑義ノアツタ所デ、實際ノ取扱上甚ダ不便デアリマシタカラ、今回ノ改正案ニ依リマシテハ、其最高額ヲ定メマシテ、其範圍内ニ於テ延著ノ日數ニ應ジマシテ、運輸規定ヲ以テ之ヲ定ムルコト、致シタノデアリマス、第三即チ改正ノ第三點ハ、引渡期間

品ヲ特ニ受取ルコトヲ希望スル者ナキニシモ非ズト云フ點ヲ慮リマシテ、賠償金請求ヲ爲スニ際シテ、留保ヲ致シマシテ後日發見シテ引渡シ得ルニ至リマスレバ、鐵道ヨリ之ヲ通知シテ、通知後一箇月内ニ賠償金ヲ返還シテ、之ヲ受取リ得ルコト、致シマシタ、第四即チ改正ノ第四點ハ、船舶其他特定ノ運送機關ガ鐵道トノ間ニ行フ通シ運送ニ對シマシテハ、本法中ノ特定法條ヲ準用致シマシテ、連絡運送ノ圓滑ヲ圖ラントスル點デアリマス、第五即チ改正ノ第五點ハ、鐵道及船舶ノ通シ運送ニ對シテ貨物引替證發行ノ途ヲ開イタ點デアリマス、第六即チ改正ノ第六點ハ、刑事法規ノ改正ニ伴ヒマシテ、及實際

上ノ必要ヲ考慮致シテ、罰則中ノ一部ヲ整理補充シタ點デアリマス、以上六點ニ互リマスル重要ナル改正ヲ致シタノデアリマス、ドウカ御審議ノ上ニ可決スルヤウ御願ヲ致シタイノデアリマ

スルガ、御如才ハナイコトデアラウト思ヒマスケレドモ、御質疑ハ重複致シマセヌヤウニ、且ツ極メテ簡潔ニ要點ヲ摘ンデ御質疑下サルヤウニ特ニ御願ヲ申上ゲマス——田中君

ミハ、此鐵道營業法ト云フ商法ニ對スル特別法ガアリマシテ、サウシテ而モソレガ政府ノ一角トシテハ鐵道省ノ所管ニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ一般ノ商法ニ關シマス事ハ、海上運送ト雖モ遞信省ノ所管デハナイノデアリマス、是ハ一般法ノ商法ノ規定ニ基ク準則ガアル、斯ウ云フ關係ニナツテ居ルヤウニ私ハ存ジテ居リマス、是ハ大變餘分ノコトヲ申上ゲテ恐縮デゴザイマ

スルガ、御如才ハナイコトデアラウト思ヒマスケレドモ、御質疑ハ重複致シマセヌヤウニ、且ツ極メテ簡潔ニ要點ヲ摘ンデ御質疑下サルヤウニ特ニ御願ヲ申上ゲマス——田中君

○田中委員 鐵道營業ニ關シマシテ海運ノ方ト陸運ノ方トノ關係ニ付テ——自動車ノ方ノ關係ハ、今回内務省ノ方カラ鐵道省ノ方ヘ管轄換ニナツタト云フ御話デアリマスガ、ソレニ關聯シテ鐵道運送ノ必要ナル範圍ニ於テ、海運ヲ鐵道省ノ方ニ移管シヤウト云フヤウナ御考ガアルノデアリマセウカ、ソレハ遞信省ノ管轄デアリマセウカ——若シ御出デナケレバ鐵道省ノ御方ニ伺ッテモ宜シウゴザイマス

○志賀政府委員 其事ハ今考ヘテ居リマセヌ——今左様ナ議ハアリマセヌ

○田中委員 今度ノ改正法ノ中ニハソレニ關聯シタ案ガ多ク出テ居ルノデアリマスガ、ソレハ無論遞信省ノ方ト御相談ニナツタノデアリマセウカ

○志賀政府委員 只今御尋ノ趣意ハ鐵道ト通シ運送ヲ爲ス場合ニ於テ、船舶ニ付テ遞信省ト交渉ヲ遂ゲタノカト云フ御話デアリマスガ、其點ハ交渉ヲ遂ゲマシタ、ソレハ兩省ノ間熟議ノ結果提出致シタノデアリマス

○田中委員 更ニ從來政府ガ行ハレナカッタ通シ運送ニ付テ、遞信省ト交渉ヲ遂ゲテ便宜ナ方法ヲ拵エルナラバ、更ニ進ンデ海運ニ關シマシテモ、モウ一

層運送方法ノ便宜ヲ圖ル爲ニ、只今申上ゲタヤウニ、少クトモ鐵道ニ關係ヲ持ツテ居ル部分ニ關スル、海運ノ關係ヲ鐵道省ニ移管セシムルヤウナ方法ニ、極ク近キ將來ニ於テ御交渉ノ御考ガナイノデセウカ、若シナイト云フナラバ私一個ノ所見デアリマスガ、運送ニ從ッテ居ル者ノ立場カラ云ヘバ、非常ニ迷惑ヲ蒙ッテ居ルノデアリマスガ、其點ニ對シテ御努力ヲ願ヘマセヌデセウカ

○志賀政府委員 只今申上ゲタヤウニサウ云フ議ハアリマセヌ、又サウ云フ考モ持ツテ居リマセヌ、御尋ノヤウナ事ハ或ハ交通省ト云フヤウナモノガ出來テ交通機關統一ノ場合ニ於キマシテハ、必然起ッテ參ル問題デアラウト思ヒマス、現在ノ鐵道省トシテハ、此程度ニ於テ事業ヲヤツテ行ク考ニナツテ居リマ

○若宮委員長 一寸田中君ヘ申上ゲテ置キマスガ、只今開會ノ當初ニ於テ私カラ特ニ委員諸君ニ申上ゲタノデアリマスガ、既ニ會期甚ダ切迫シタル際デアリマスガ故ニ、願クバ本委員會ニ審議ヲ委託セラレテ居リマスル所ノ法律案四件ハ本日本中ニ質疑ヲ終了スルヤウニ御取計ヒテ願ヒタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置イタ次第デアリマス、ドウカ就キマシテハ委員各位ニ申上ゲマ

○若宮委員長 是ハ私委員長トシテ申上ゲル限リノコトデアリマセヌガ、御參考迄ニ愚見ヲ申上ゲマスガ、今田中君ノ御質問ノ事ハ或省ト省トノ關係デアリマセヌデ、商法ノ規定トソレカラ鐵道營業法トノ規定ノ關係デアリマセヌノデスカ

○田中委員 商法ノ方デハ今ソレガ認メラレマセウカ

○若宮委員長 運送ニ關シマスルコトハ、海上運送、陸上運送全部ヲ通ジマシテ、商法ノ規定ニ支配サレテ居ル譯デアリマス、ソレカラ鐵道ニ關スル事ノ

○志賀政府委員 只今御尋ノ趣意ハ鐵道ト通シ運送ヲ爲ス場合ニ於テ、船舶ニ付テ遞信省ト交渉ヲ遂ゲタノカト云フ御話デアリマスガ、其點ハ交渉ヲ遂ゲマシタ、ソレハ兩省ノ間熟議ノ結果提出致シタノデアリマス

○田中委員 更ニ從來政府ガ行ハレナカッタ通シ運送ニ付テ、遞信省ト交渉ヲ遂ゲテ便宜ナ方法ヲ拵エルナラバ、更ニ進ンデ海運ニ關シマシテモ、モウ一

層運送方法ノ便宜ヲ圖ル爲ニ、只今申上ゲタヤウニ、少クトモ鐵道ニ關係ヲ持ツテ居ル部分ニ關スル、海運ノ關係ヲ鐵道省ニ移管セシムルヤウナ方法ニ、極ク近キ將來ニ於テ御交渉ノ御考ガナイノデセウカ、若シナイト云フナラバ私一個ノ所見デアリマスガ、運送ニ從ッテ居ル者ノ立場カラ云ヘバ、非常ニ迷惑ヲ蒙ッテ居ルノデアリマスガ、其點ニ對シテ御努力ヲ願ヘマセヌデセウカ

○志賀政府委員 只今申上ゲタヤウニサウ云フ議ハアリマセヌ、又サウ云フ考モ持ツテ居リマセヌ、御尋ノヤウナ事ハ或ハ交通省ト云フヤウナモノガ出來テ交通機關統一ノ場合ニ於キマシテハ、必然起ッテ參ル問題デアラウト思ヒマス、現在ノ鐵道省トシテハ、此程度ニ於テ事業ヲヤツテ行ク考ニナツテ居リマ

○若宮委員長 一寸田中君ヘ申上ゲテ置キマスガ、只今開會ノ當初ニ於テ私カラ特ニ委員諸君ニ申上ゲタノデアリマスガ、既ニ會期甚ダ切迫シタル際デアリマスガ故ニ、願クバ本委員會ニ審議ヲ委託セラレテ居リマスル所ノ法律案四件ハ本日本中ニ質疑ヲ終了スルヤウニ御取計ヒテ願ヒタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置イタ次第デアリマス、ドウカ就キマシテハ委員各位ニ申上ゲマ

○若宮委員長 是ハ私委員長トシテ申上ゲル限リノコトデアリマセヌガ、御參考迄ニ愚見ヲ申上ゲマスガ、今田中君ノ御質問ノ事ハ或省ト省トノ關係デアリマセヌデ、商法ノ規定トソレカラ鐵道營業法トノ規定ノ關係デアリマセヌノデスカ

○田中委員 商法ノ方デハ今ソレガ認メラレマセウカ

○若宮委員長 運送ニ關シマスルコトハ、海上運送、陸上運送全部ヲ通ジマシテ、商法ノ規定ニ支配サレテ居ル譯デアリマス、ソレカラ鐵道ニ關スル事ノ

フコトニ御取計ヒ願ハレマスマイカ

〔速記中止〕

○田中委員 三十五條ノ二ヲ御尋シタ
イノデス、政府ハ買収ノ日ヨリ買収代
價交付ノ日ニ至ル迄買収代價トシテ交
付スヘキ國債ノ利子ニ相當スル金額ヲ
概算ヲ以テ從前ノ決算期毎ニ買収セラ
レタル者ニ交付スルコトヲ得」ト云フ
コトガアリマスガ、是ハ交付スル國債
ノ利子ニ相當スルダケヲ、公債ヲ遣ル
迄ノ間ヤルコトニナツテ居ルノデスカ、
又是ハ鐵道省ノ方ノ會計カラ此利子ハ
出スコトニナルノデセウカ、或ハ別ノ
方カラデスカ

○福富政府委員 是ハ鐵道省ノ特別會
計カラ支拂ウコトニナツテ居リマス

○田中委員 大藏省ノ方ニ關係ナク鐵
道省ノ方カラ支出スルト云フノデスカ

○福富政府委員 是ハ利子デハアリマ
セヌ、ソレデ鐵道省ノ會計カラ出シ、大
藏省ニハ關係ハアリマセヌ、其利子ニ
相當スル金額デアリマシテ、利子デハ
ナイノデアリマス

○田中委員 詰リ觀念カラ言ヘバ、結
局利益ヲ鐵道省ガ取ツテシマウカラ、ソ
レヲ營業者ノ方ニヤラヌノハ不都合ダ
カラ、其標準ヲ定メテ利子ニ相當スル
金ヲヤル、ソレヲ鐵道省ガ直接拂フ、大
藏省ノ方ノ會計ニ入レナイコトニナル
ノデスカ

○志賀政府委員 御説ノ通りデス、此

買収ノ交付公債ノ利子モ鐵道省ノ特別

會計カラ實際ハ支拂フノデス、鐵道公
債ハ總テ鐵道ノ特別會計カラ今迄モ拂
ツテ居ルノデス、同時ニ是ハ利子デハ
アリマセヌガ、利子ニ相當スル金額ハ
只今御説ノ通りノ趣旨ニ於テ、鐵道ノ
會計ヨリシテ鐵道ノ會社ニ交付スルト
云フコトニナツテ居リマス

○横山委員 連日ノ質問ニ依リマシテ
稍了解スル所ガアリマシタカラ、質問
ハ終了シタコトニ御取計ヒアランコト
ヲ希望致シマス

○若宮委員長 只今横山君カラ御發議
ノ通り、地方鐵道法、軌道法及非訟事件
手續法、此三案ニ付テノ質疑ハ終了シ
タト取計ヒマシテ御差支アリマセヌ

○若宮委員長 然ラバ三案ニ對スル質
疑ハ是ニテ終了致シマシタ、殘リマシ
タ鐵道營業法ニ付テノ質疑ヲ御繼續ヲ
願ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○若宮委員長 然ラバ三案ニ對スル質
疑ハ是ニテ終了致シマシタ、殘リマシ
タ鐵道營業法ニ付テノ質疑ヲ御繼續ヲ
願ヒマス

○工藤委員 委員長、斯ウ云フコトニ
御願致シマス、營業法モ只今御説明ヲ
伺ツタケデ質問ノ準備ニ多少時間ヲ
頂戴シタイト思ヒマスカラ、午後ニ續
行スルナリ、或ハ明日ナリニシテ、今日
午前中ハ此程度デ止メテ戴イタラ如何
デスカ

○若宮委員長 然ラバ是ニテ休憩致シ
マス、午後ハ一時半ヨリ開會致シマ
ス

午前十一時三十二分休憩

午後二時四十八分開議

○若宮委員長 開會致シマス、地方鐵
道法中改正法律案、軌道法中改正法律
案及非訟事件手續法中改正法律案、此
三案ニ付キマシテ討論ヲ開始致シマス
——田中君

○田中委員 大體此三法律改正案ニ付
キマシテハ贊成デアリマス、唯此際色
色仲間ニ於キマシテモ意見ガアッタノ
デアリマスガ、會期切迫ノ時デモアリ
マスカラ、警告ヲ付シテ贊成ヲシテ置
キタイ、斯ウ云フコトデアリマス、其警
告ノ文句ヲ私ハ申上ゲマス「一、現内閣
ノ地方鐵道及軌道ノ濫許ハ鐵道國有法
ノ精神ニ背反スルモノト認ム仍テ將來
特ニ深甚ナル考慮ヲ拂フコトニ、事務
簡捷ノ爲メ社債募集及他事業兼營等ノ
不要認可事項ト爲シタルハ地方鐵道經
營ヲ放漫ニ流レシムル虞アルヲ以テ特
ニ嚴重ニ監督權ヲ行使スルコト」此二
箇條ノ警告ヲ附ケマシテ贊成致スノデ
アリマス、此二箇條ノ趣旨ニ付キマシ
テハ、此委員會ニ於キマシテ色々吾々
ノ仲間ノ委員ヨリ詳細ニ質問セラレテ
居リマスカラ、此機會ニ於テハ別ニ申
シマセヌ

○工藤委員 只今田中委員ヨリ希望決
議ヲ附シテ、本案ヲ此儘可決スルト云
フコトニハ、私モ贊成ヲ致シマス、此法
案ハ民間ノ營業者及政府ニ於テモ、相

當永イ間御調ニナツタノデアツテ、大體

ニ於テハ尤ナル點ガアリマスケレド
モ、地方鐵道ノ發達ニ伴フテ、種々ナル
弊害モ亦起リ得ルト云フコトハ免レナ
イ、殊ニ私共ノ見ル所ヲ以テスレバ、日
本鐵道國有法ノ精神ト云フモノハ、國
策トシテ、極メテ大切デアリマスルカ
ラ、成ベクハ此精神ト沿革トヲ忘レヌ

ヤウニシテ行カナケレバナラヌ、然ル
ニ本委員會ニ於テモ屢審議ノ題目トナ
リシ如ク、私有鐵道ノ許可ニハ、動モス
ルト云フト、國ノ鐵道トスベキ重要ナ
ル線、國有線トシテ、理想線トシテ敷設
法ニ掲ゲラレテ居ルヤウナ線モ餘リ經
營者ガ經營上確實ト認メラレナイモノ
ニモ許可シテ居ル例ガ澤山アリマスケ
レドモ、是ハ主務大臣ノ見込ニ依ルノ
デアルカラ、私共ハ議論ヲ異ニスルダ
ケデアルケレドモ、此國有政策カラ見
ルト云フト、將來洵ニ憂慮ニ堪ヘナイ
場合ガ此儘デ行クト云フト、起ラヌト
モ限ラヌノデアリマスカラ、此點ニ關
シマシテハ、特ニ深甚ナル考慮ヲ拂フ
テ、公私ノ鐵道ヲ速ク普及セシムルト
云フ趣旨カラ見マシテハ尤デアリマス
ケレドモ、十分此點ハ御考慮ヲ願ヒタ
イト云フノガ、即チ田中君ノ警告ノ意
味デアルト考ヘマシテ、私ハ此點ニ贊
成致シマス、ソレカラ此認可ノ事項ヲ
少クスルト云フコトハ、私共ハ大體ニ
於テ是ハ宜イト思フガ、私有鐵道ハ大
體國有鐵道ノ精神ニ則ツテ其規格等モ

之ニ準ジテサウシテ將來或ハ買收シ得ル線モ相當アルヤウニ思フ、シテ見ルト云フト、此私有鐵道ノ經營ヲ放漫ナラシムルト云フコトハ、他日國家ノ必要ニ應ジテ之ヲ買收スルト云フヤウナ場合ニ於テモ、或ハ又一般公益ヲ保護スルト云フ點カラ見マシテモ、此監督ト云フモノハ餘程嚴重ニシナケレバナラス、殊ニ補助金モ與ヘ、或ハ種々ナル便宜ヲ此地方鐵道或ハ軌道ニ許シテ居ル以上ハ、國家トシテハ出來得ルダケ指導スルコトハ當然デアリマスケレドモ、尙一面ニ於テハ、之ヲ指導誘掖スルニ又嚴重ナ監督ヲ行フト云フコトモ必要デアリハシナイカ、隨テ今回不要認可事項ト致シマシタ主ナルモノトシテハ兼業或ハ社債ハ頂戴シマシタ資料ニ依テ見テモ相當アルヤウデアリマス、又此兼業ノ方ニ至ッテモ、相應シイモノアリマスケレドモ、全ク是ハ分離シタルベキモノデハナイカと思フモノモアツテ、隨テ經濟ガ混淆シハシナイカ、經濟ガ混淆スル時ニハ、將來那樣ナ鐵道ハ重要線トシテ買收スル時ニハ、國庫ハ是爲ニ不必要ナル不適當ナル負擔ヲ増加スルヤウナコトモアリハシナイカト云フコトヲ悞レル、ソレデアリマスルカラ兼業或ハ社債其他ニ付キマシテモ、私共ハ事務簡捷ノ爲ニ、不要認可事項ヲ作ッタト云フコトニ付テハ、或ルモノニ對シテハ無論賛成致シマスケレドモ、此點モ私共トシテハ懸念ニ堪

ヘマセヌカラ、特ニ此點ニ對シテ私ハ賛成致シマス、尙買收法案ニ關スル委員會ノ際ニモ屢問題ニナリマシタガ、此改正案ハ地方鐵道及軌道ヲ支配スル本法デアリマスカラ、特ニ此際私ガ附加ヘテ置キタイノハ、現内閣ノ方針ノ如クスルト云フト、將來地方鐵道或ハ軌道ヲ買收スルモノハ相當アルカモ知レヌ、隨テ此買收ノ大切ナル要件トシテハ、益金或ハ建設費、而シテ此益金或ハ建設費ノ基礎トナルベキ所ノ營業ノ狀態等ガ大ナル關係ガアリマス、幸ニ鐵道大臣ハ此私有鐵道ニ對シ、軌道ニ對シテ嚴重ナル監督權ヲ行使スルノ途ガ、法律規則ノ上ニ於テ定ッテ居リマスカラ、尠クトモ斯ウ云フ線路ト思ハレルヤウナ線、無論一般ノハシナケレバナラヌデスケレドモ、特ニ此監督ヲ嚴重ニシマセヌト云フト、將來政府ニ買收セラレルコトヲ豫想シテ、或ハ故ヲニ營業費ヲ少クシテ益金ヲ増加スルヤウナコトモアリ、或ハ數年間ニ互ッテ蝕配當ヲヤッタト云フヤウナ例モ澤山アルノデアリマス、蝕配當ヲヤッテ益金ヲ殖ヤシ、益金ヲ基ニシテ鐵道ヲ買收スルト云フコトデアリマスレバ、國家ノ損害ト云フモノハ尠ナカラザルモノガアルノデアリマス、此間ニ或ハ一時悲況ニ陥ッテ、其會社ノ株ノ下ッタ時ニ資本家ガ之ヲ買込ンデ、サウシテ今度ハ買收運動ヲシテ、政府ニ買ッテ貰フト云フヤウナコトデ、全ク此私有鐵道會

社ノ株ト云フモノハ投機的ニ利用サレテ、一部ノ者ニ其ノ利益ハ歸シテ、最初ノ企業者デアル所ノ鐵道經營者ノ利益ト云フモノヲ減損セラレテ、企業上ニ及ボス所ノ影響モ相當アルト私共ハ思フ、故ニ監督官廳ハ此地方鐵道軌道ヲ監督スルニ十分ノ權能ガアル等デアリマスカラ、此點ハ十分御監督ヲ願フコト、シテ、即チ地方鐵道軌道ノ買收ニ關シ、營業者ハ買收金額ノ増大ヲ期スルガ爲ニ、其益金ヲ増大シテ、而シテ將來ノ買收ノ時ニ策應スルヤウナコトヲヤルト云フコトハ、隱レモナイ事實デアリマスカラ、斯様ナル意味ニ於テ、私共ハ田中君ノ警告ニ賛成致シマス、實ハ改正シタイ點モ修正致シタイ點モ澤山アリマスケレドモ、最早會期モ切迫シテ居リマスルシ、何レハ又種々ナル交通機關ノ發達ニ伴ウテ、鐵道ニ關スル所ノ政策ノ根本方針ヲモ立テル時機モアルト思ヒマスカラ、暫ク修正ハ致シマセヌデ、此儘私共ハ之ヲ認メテ置キマス、仍テ政府モ本委員會ニ於テ審議セラレタル狀況ニ基イテ、十分ナル將來ノ私有鐵道ニ關スル所ノ監督ヲ行ハレンコトヲ特ニ希望致シマシテ、私ハ田中君ノ警告事項ニ賛成致シマス

○豐田委員 私ハ田中君ノ警告ニ對シテ其必要ナシト認メ、反對ノ意ヲ表明スル者デアリマス、田中君ノ警告ノ第一ハ、現内閣ガ私設鐵道ヲ濫許スルノ虞ガアルカラ以後注意スルヤウニト云フコトデアリマス、吾々ノ認メル所ニ依リ、殊ニ本委員會ニ於ケル政府當局ノ說明ニ依テモ、現内閣ニナッテ特ニ私設鐵道ノ免許ガ殖エタコトハナク、寧ろ現内閣成立ノ結果、督勵ヲシテ多年停滯シテ居ッタ所ノ案件ヲ處理シタト云フコトデアリマス、吾々ハ其意味ニ於テ特ニ斯ル警告ヲ付スルノ必要ナキモノト認メルノデアリマス、第二トシテハ認可事項トシテ社債及兼業ニ對スル事項ヲ今回削除セルハ趣旨ニ於テ賛成デアルケレドモ、將來鐵道ヲ買收スル場合ニ於テ、兼業ト鐵道ソレ自體ト會計其他カラ混雜ヲ來シテ、一般國家財政上カラ不都合デアルカラ、之ヲ能ク嚴重ニ監督スルヤウニト云フ意味デアリマスケレドモ、ソレハ何モ、鐵道省ノ監督ヲ俟タナクテモ、政府委員ガ本案提出ノ理由トシテ、說明セラレタ如ク、會社自體、自己ノ利益ニ關スル事デアルカラ、會社ガ十分注意ヲシテ損失ヲ招クガ如キ計畫ハシナイデアラウ、又社債ニ付テモ、社債ニ應募スル者ガ會社ノ經濟財政等ニ注意ヲ拂ヒ、論者ノ心配セラレルガ如キコトハ少カルベシ、即チ何人ニテモ自己ノ利益ヲ保護スル上ニ於テ、最モ敏感デアルモノデアル、私ハ茲ニ自由經濟主義者ノ唱ヘルガ如ク、萬事ニ「レイベー」エヤ「レ」ガ宜イト云フ譯デハナイケレドモ、大體自己ノ利害ニ關スル事項ニ付テハ、ソレ自體ガ最モ注意ヲ拂フモノデ

アルト信ズルノデアル、況ヤ從來兎角政府ハ官僚式デアッテ民業ニ壓迫ヲ加ヘ、繁文縟禮ノ嫌ガアルト云フノヲ今回特ニ現内閣ガ此弊ヲ改正案デアルニ於テハ、何等斯ノ如キ警告ヲ付スルノ必要ナキモノト認メマシテ、遺憾ナガラ此警告ニ對シテハ反對ノ意ヲ表スル次第デアリマス、全部警告ナクシテ通過セラレンコトヲ望ミマス

○工藤委員 本案ニ對シテハ吾々ハ可カ否カニツシカナイノデアリマス、而シテ同ジク可トスルニ付テモ、ソレゾレ理由ガアルノデアリマス、シテ見ルト私共ハ私共ノ意見トシテ、此警告ヲ付スルト云フコトニ付テハ、議論トシテ反對デアルケレドモ、本案ノ可否ニ付テハ差支ノナキコトデアアル、吾々ハ之ヲ審議スルニ當ッテ政府ノ答辯ヲ求め、當局者ノ意見ヲ聽イテ、此點ニ付テ斯ウ云フ意見ヲ發表スルト云フコトハ、何等拘束サレル必要ハナイ、是ハ委員長トシテハ可否ヲ問フベキモノデハナクシテ、唯委員會ニ於テ斯ウ云フ纏々方面カラノ意見モアルト云フコトヲ發表スルニ止マルモノデアアル、是ハ豊田君ガ議事上ニ於ケル經驗ガナイカラ、只今ノヤウナ御意見モアッタノデアリマス、ソコデ只今豊田君ハ現内閣ニナッテカラ停滯シテ居ッタノヲ處理シタト言ハレルガ、ソレハ如何ナル内閣ニ於テモ様々ヤルカラ問題デハナイ、ケレドモ現内閣ガ少クトモ責任ヲ負フテ鐵道ニ關スル出願ヲ處理シタ時代ノ統計ニ依テ見レバ、昭和二年ニハ八分一厘、昭和三年ニハ八分四厘、大正十五年以前ニ遡ルト、大正十三年ニハ五分八厘、十四年ニハ七分二厘、十五年ニハ七分五厘デ、現内閣ニ至ッテ許可數ハ殖エテ居ル、他黨ノ内閣ガ出來タカラト云フ意味デハナク、昭和二年以來是ガ増加シテ居ルト云フ爲ニ、吾々ハ此ノ警告ヲ與ヘルノデアリマス、本會議ニ於テ屢應酬セラレタ事實ニ付テ見テモ、相當ナル件數ニ於テ政府ノ出シタ所ノ材料ニ依テ見テモ明瞭デアアル、デアアルカラ國有鐵道ト云フモノヲ主義トシテ我國ハ將來國ノ力デ經營スル、併ナガラ財力ノ足ラヌ場合ニ於テハ、私有鐵道ヲ以テ個人ノ經營モ許ス、而シテ將來必要デアレバ之ヲ買收スルト云フノデアアル、其時ニ萬々一儲カラナイ鐵道ヲ矢鱈許可シテ、而モ私設鐵道法中ニ於テハ、或ル線路ヲ許可シタガ、經營ガ放漫ニ流レタ爲ニ惡イ鐵道ヲ高ク買ウヤウデハ困ルカラト云フノデ警告ヲ付スルノハ、吾々ノ職責ヲ盡ス上ニ於テ當然デハナイカ、斯ウ云フ意味ニ於テ私共ハ政府デ提出シタ事實ニ基イテ考ヘテモ私有鐵道ト云フモノガ國有鐵道ト云フモノ、精神ニ背反スルヤウナ點モアル、是ハ單リ本院バカリデハナイ、貴族院デモ其說ヲ主張スル者ハ澤山アル、斯ウ云フ事情カラ出發致シテ、而シテ現内閣ガ責任ヲ取ッテ私有鐵道ヲ許シタ、昭和二年四月ニ現内閣ガ出來テ居リマスガ、之ニ依テ見テモ十五年ノ七分五厘、十四年ノ七分二厘、十三年ノ五分八厘ト云フモノガ、俄ニ八分一厘八分四厘トナッタト云フコトハ、數字ニ於テ明瞭ニナッタノデアリマスカラ、私ハ申スノデアリマス、ソレカラ事務簡捷ト云フコトデ自由ニシタト言フガ、之ニ吾々反對スルノデハナイ、唯私有鐵道ガ斯ノ如キ重大ナル使命ヲ持ッテ居ル會社デアアルカラ、公益上政府トシテハ法規ノ定ムル所ニ從ッテ監督スル途ガ十分出來テ居ルノデアアルカラ、此點ニ關シテハ、私共特ニ事務簡捷其モノニハ反對シナイガ、斯様ナル重要ナル事項ニ付キマシテハ、特ニ監督權ヲ行使シテ吳レト云フノデアアル、吾々ハ立法府ニ列シテ、政府ノ行政ニ對シテ種々ナル點カラ、之ニ對シ警告ヲシ、意見ヲ發表スルト云フノハ、私共ノ職責ニ上當然デアリマス、ソレデアリマスカラ議論ヲスルト云フト際限ガアリマセヌ、ソレコソ廣大無邊デアリマス、ケレドモ、大體之ニ付テハ輿論デアアルカラ賛成スルトシテモ、是ダケノ意見ヲ附加ヘテモ何モ與黨ノ諸君ガソレ程ムキニナッテ問題ニスベキモノデハナイト思フ、吾々ハ修正スルナラバ修正ノ餘地ハアリマス、若シ左様ナルコトデアレバ吾々ハ本會議ニ於テ更ニ意見ヲ發表スルコトニ致シマス

○横山委員 私ハ簡單ニ賛成ノ意ダケ表明シテ置キマス、本案ハ法律案デゴザイマスカラシテ修正ヲスルカ否決ヲスルカ賛成ヲスルカヨリ外仕方ガ無い、現ニ社債トカ、兼業ノ點ニ付テ吾々或ハ修正シタラドウカト云フ考モ浮ンダノデアリマスケレドモ、寧ロソレヨリモ政府ヲ信賴シテ此儘賛成ヲスルニ當ッテ、賛成ノ理由トシテアレダケノ言葉ヲ留メテ置クト云フコトガ蓋シ至當デアラウト云フノデ、田中君ヨリアノ言葉ガ出テ工藤君ノ賛成ノ演說トナッタノデアリマス、事例トシテハ幾多アリマス、此間ノ治安維持法ヲ本會議デ可決シマス時分ニ、新黨俱樂部ノ諸君ハ緊急勅令案ノ手續上ニハ缺クル所ガアッタガ、今ハ賛成スルト言ウテ、賛成ヲセラレタノハ近イ生々シイ事件デアアル、私ノ狭イ經驗ニ依リマスレバ、陪審法ノ通過致シマシタ時分、陪審法其モ點ニ甚ダ意ニ滿タザルモノガアル、其演說トシテハ寧ロ反對デアリマシタガ、無キニ勝ルト云フ趣旨ニ於テ、其成立ニ賛成シタコトガアリマス、ソレト同ジ趣意デアリマス、決議事項デハアリマセヌカラ反對セラルベキモノデナイト思フ

○志賀政府委員 此際政府當局トシテ一言申上ゲテ置キマス、只今田中君ヨリ御警告ガアリマシタガ、其中ニ於キマシテ、現内閣成立以來地方鐵道ノ免

テ現内閣ガ責任ヲ取ッテ私有鐵道ヲ許シタ、昭和二年四月ニ現内閣ガ出來テ居リマスガ、之ニ依テ見テモ十五年ノ七分五厘、十四年ノ七分二厘、十三年ノ五分八厘ト云フモノガ、俄ニ八分一厘八分四厘トナッタト云フコトハ、數字ニ於テ明瞭ニナッタノデアリマスカラ、私ハ申スノデアリマス、ソレカラ事務簡捷ト云フコトデ自由ニシタト言フガ、之ニ吾々反對スルノデハナイ、唯私有鐵道ガ斯ノ如キ重大ナル使命ヲ持ッテ居ル會社デアアルカラ、公益上政府トシテハ法規ノ定ムル所ニ從ッテ監督スル途ガ十分出來テ居ルノデアアルカラ、此點ニ關シテハ、私共特ニ事務簡捷其モノニハ反對シナイガ、斯様ナル重要ナル事項ニ付キマシテハ、特ニ監督權ヲ行使シテ吳レト云フノデアアル、吾々ハ立法府ニ列シテ、政府ノ行政ニ對シテ種々ナル點カラ、之ニ對シ警告ヲシ、意見ヲ發表スルト云フノハ、私共ノ職責ニ上當然デアリマス、ソレデアリマスカラ議論ヲスルト云フト際限ガアリマセヌ、ソレコソ廣大無邊デアリマス、ケレドモ、大體之ニ付テハ輿論デアアルカラ賛成スルトシテモ、是ダケノ意見ヲ附加ヘテモ何モ與黨ノ諸君ガソレ程ムキニナッテ問題ニスベキモノデハナイト思フ、吾々ハ修正スルナラバ修正ノ餘地ハアリマス、若シ左様ナルコトデアレバ吾々ハ本會議ニ於テ更ニ意見ヲ發表スルコトニ致シマス

許ヲ濫ニシタト云フコトガアリマシタ、是ハ甚ダ政府トシテハ迷惑千萬ナ御言葉デアリマス、政府ニハ斷ジテ左様ナ事實ハ無いノデアリマス、十分慎重ニ考慮シマシテ、地方公益ノ爲ニ適當ナ方法ヲ執ツタノデアリマス、併ナガラ今日ニ於キマシテ、斯ノ如キ非難ヲ蒙リマスコトハ、政府トシテハ洵ニ遺憾デアリマスガ、之ニ付キマシテハ、將來尙ホ一層注意ヲ加ヘマシテ、此點ニ付テハ諸君ノ御期待ニ背カザランコトヲ期シマス

○若宮委員長 討論ハ終結セラレマシタ、念ノ爲メ申上ゲテ置キマス、田中君カラノ御發議ハ委員長ニ於テ是ハ御意見トシテ承ツテ置キマス、仍テ直ニ原案ニ付テ採決ヲ致シマス、御面倒デアルカモ存ジマセヌガ、原案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者 起立〕

○若宮委員長 全會一致ヲ以テ可決セラレマシタ、ドナタモ御苦勞デアリマシタ、是ヨリ引續キ鐵道營業法中改正法律案ノ質疑ニ移リマス

○横山委員 第十一條ガ改正ニナリマシテ、前ノ條文カラ見ルト大分便利ニナッタヤウニ思ヒマスガ、此十一條ノ「表示料ヲ支拂ヒ要償額ヲ表示スルコトヲ得」ト御書キニナリマシタノハ、思フニ品物ガ無クナッタヤウナ場合ニ其賠償ヲ爲サル時分ノ手續ヲ簡單ニスルト云フ意味デアラウト思ヒマス、然ル

ニ二項ニ於テハ「引渡期間末日ニ於ケル到達地ノ價格及引渡ナキ場合ニ於テ旅客又ハ荷送人ガ受クヘキ其ノ他ノ損害ノ合計額ヲ超ユルトキハ其ノ超過部分ニ付テハ其ノ表示ハ之ヲ無効トス」トアリマス、私ノ考デハ、一體表示料ヲ取ツテ、要償額ヲ御定メニナル以上ハ、斯ウ云フ二項ノ如キ規定ヲ置カズシテ豫定償金デスカラ、表示額其モノヲ御渡シニナルト云フコトガ、彼我ノ便利デハナイカト思ヒマス、ドウ云フ譯デ二項ヲ御置キニナリマシタカ伺ヒタイ

○寛政府委員 御尤ナ御質問デアリマス、私ノ方デモサウ云フ事モ考ヘマシタガ、保險ノ場合ニ於テ、超過保險ト云フモノヲ無効ニシテ居リマスノデ、ソレト同ジヤウナ工合ニ、若シ此處ニ千圓ノモノヲ持ツテ居ッテ、ソレヲ千五百圓デアルト云フヤウナコトヲ言ッテ、其間ニ於テ或ル不正ナル事ヲ爲スヲ目的トスルヤウナ者ガアッテハイカヌト思ッテ斯様ニシタノデアリマス

○横山委員 サウスルト、價格ノ表示ニ偽リガアッタ時分ニハ、實損害額ヲ與ヘルト云フ意味デスウシタノデアリマスカ、若シ品物ガ全然滅却シタ時分ニハドウ爲サルノデアリマスカ

○寛政府委員 其場合ニ於ケル損害ガ幾ラデアッタト云フ證明ハ、鐵道デ致スコトガアリマスカラ、實際ノ問題トシテハ、今貴方ノ御話ニナッタヤウナ結果ニナルト思ヒマスガ、併シ一應斯ウ云

フヤウニスルコトガ適當デアルト考ヘタ次第デアリマス

○横山委員 ソレデハ、此二項ノ規定ノ必要ヲ惹起スル場合ハドウ云フ場合ガアルト想像サレテ居リマスカ、其場合ヲ御説明ヲ願ヒタイ

○寛政府委員 其場合ト申シマスト假想的ノ事ニナリマスカラ一寸困難デアリマスガ、要スルニ、ソレ等ノ超過シテ居ルコトハ鐵道デ證明シナケレバナラヌコトニナルカラ、各種ノ材料ヲ以テ、例ヘバ米ガ千俵ト云フ場合ニ、ソレガ庄内米ト云フヤウナコトガ荷送其他ニ依ッテ證明サレマシタ場合ニ於テハ、其損害ヲ賠償スル、ソレハ色々ナ材料ニ依テ鐵道ガ證明スルノデアリマスカラ簡單ニ斯ウ云フ場合デアルト今申上ゲルノハ一寸困難デアリマス

○横山委員 私ハ運送ノ事ニ付テハ極メテ無經驗ノ者デアッテ、頭ノ透明ナル政府委員ノ御答デハ一寸満足出來ナイ、例ヘバ、前ノ規則ニ依ルト、則チ鐵道營業法十一條ニハ貨幣有價證券其他ノ高價物ニ付テハ云々トアリマシテ、高價物ト云フモノニハ色々アリマセウガ、中ニハ數量ノ極メテ僅少ナモノデ高價ナモノモアラウト私ハ思フ、斯様ナ場合ニ於テ、其モノガ全然無クナッタ時ハ、是ハ要償額ニ依ル外仕方ガナイト思ヒマス、所ガ要償額ヲ與フベク一項ニ規定シテ置キナガラ、二項ニ於テ、到着地ノ價格ニ依ル、サウスルト折角表

示料ヲ取ツテ、サウシテ、今度物ガ無クナッタ時分ニハ到着地ノ價格ヲ材料トシテ豫メ決メル、ソレニ及ヲ加ヘルト云フコトニナルト、豫定償金ヲ御定メニナッタ趣旨ヲ没却スルヤウニ思フ

○寛政府委員 御質問ノ點ノ現行法ノ十一條ノ貨幣有價證券ニ對スル規定ハ、十一條ノ二ノ二項ニナッテ居リマシテ、現行法ノ十一條ト改正案ノ十一條トハ全ク無關係トハ言ヘマセヌガ、關係ノナイコトニナッテ居リマスノデ、之ヲ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラモウ一ツ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、高價表示料ヲ取ツテ置イテ、ソレガ無効ニナルノハ宜シクナイト云フコトデアリマスガ、ソレモ實ハ考ヘマシタガ、此場合ニ於テ一番必要ナノハ何デアルカト申シマスレバ、證明ノ責任ハ普通通ノ場合ニ於キマシテ、御承知ノ通り損失ノ被害者ノ方カラ言ッテ來ナケレバナラヌノデアリマスガ、十二條ノ二ノ規定ニ依リマシテ、鐵道ノ方ニ損害ノ無効ノ證明ガ移ル譯デアリマスカラ、其間ニハ非常ナ差違ガアルト思ヒマス、所謂舉證ノ責任ト云フモノガ向フニ在ルカ、此方ニ在ルカト云フコトガ、是ガ非常ナ相違デアリマスカラ、其點ニ於テ非常ニ違フト思マス、ソレカラ到達地ノ價格トアリマスノハ、今朝モ大體ノ説明ノ時ニアリマシタヤウニ、商法ノ規定デアリマシテ、引渡ノナイ場合ニ於テ旅客又ハ荷送人ノ受クベキ損害ト

云フモノハ是ハ、商法以外ニ新ニ附加ハタ
タモノデアリマシテ、此附加ハタト云フ
コトガ、即チ改正案ノ根本ノ理由ニナッ
テ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○横山委員 私ノ頭ガ惡イノカモ知レ
マセヌガ、私ハ斯ウ云フ考ヲ以テ御尋
シテ居リマス、此十一條ノ一項ハ少ク
トモ表示料ヲ拂フナラバ、要償額ト云
フモノヲ決メテ先ヅ物ノ滅失ナドヲシ
タ時分ニハ、一部ノ滅失ハ勿論一部ノ
滅失トシテ計算サレルノデアリマセウ
ガ、要償額其モノヲ與ヘテ簡明ニ事ヲ
處スルト云フ意味ニ於テ此規定ガ置カ
レタモノト思ヒマス、ソレハ一體カラ
申シマスレバ、人カラ物ノ運送ノ委託
ヲ受ケテ、其品物ガ亡クナルト云フコ
トニナツテハ、民法ノ原則カラ言ヒマス
ト云フト、過失ニ依ル場合ニ於テ、之ヲ
御負擔ヲ爲サル、然ルニ商法ハ民法ト
ハ自カラ趣ヲ異ニ致シテ、運送法ト云
フモノガアツテ民法ヨリモヨリ以上ニ
契約ノ力ニ依テ責任ヲ重クシテアル、
即チ當リ前カラ言ヘバ、過失ガナケレ
バ損害ヲ賠償スル義務ハナイノデア
ルガ、此商法ノ運送ノ規定ニ依ルト、荷
物ノ委託ヲ受ケタ方ノ人ガ、自分ノ方
ニハ過失ガナイト云フコトヲ證明スル
アラザレバ、責任ヲ負ハナケレバナ
ラヌト云フ反對ノ規定ガ出來テ居ルノ
デアリマス、即チ原則ニ對スル、又一
ツノ特別規定ト之ヲ見ナケレバナラヌ、
サウナリマス

損害賠償ナド、云フモノハ、契約ニ違
反シタ時分ニ、實害金ヲ出ス場合モア
リマスシ、又實害金ト云フコトニナル
ト臆却ダカラ初カラ豫定償金ト云フモ
ノヲ置イテ、實害ガ餘計アラウガ少ク
アラウガ、其豫定償金ヲ出シテ、事ノ終
局ヲ著ケル、斯ウ云フコトノ規定モア
ルノデス、私ハ十一條ノ一項ハ先ヅ其
趣旨ニ解釋シタノデス、サウシテ斯
ノ如クニシテ表示料マデ御取リニナル
ト云フコトニナレバ、即チ其表示價格
ニ依テ表示料ヲ御取リニナツテ居ル
デアリマスカラ、全然物ガ滅失シタナ
ド、云フ場合ニハ、到着地ノ價格トカ
何トカ云フヤウナ煩雜ナ手續ヲ置カズ
シテ、簡單明瞭ニ要償額ヲ御拂ニナル
ト云フコトガ、是ガ當リ前デハアリマ
セヌカ、尤モ荷ヲ引受ケルト云フ場合
ニ、表示料ヲ取ラレル場合ニ、十分ナル
調査ヲ爲サルト云フナラバ格別デア
ル、斯ウ云フ意味ノ御問ヲシテ居ル
デス

○志賀政府委員 只今迄ノ横山君ノ御
尋ノ事ハ如何ニモ御尤デス、吾々モサ
ウ思フノデスガ、唯全部滅失ノ場合ヲ
横山君ガ想像サレルカラ、必要ガナイ
デヤナイカト云フ御議論ガ起ルノデア
リマスガ、第十一條ノ一項ノ一號ハ所
謂全部滅失ノ場合、二號ハ一部滅失又
ハ毀損ノ場合ニ表示額ヲ基礎トシテソ
レニ依テ拂フト云フコトニナツテ居
マス、然ルニ一例ヲ申上ゲマスレバ、金
時計二個、之ヲ送ッタト云フコトデ、例
ヘバ五百圓ナラ五百圓ト云フ表示額ガ
出テ居ル、然ルニ一個盜マレテ一個殘
テ居ル、所ガ其金時計ト云フモノハ酷
イ安イ鍍金物デアッタト云コトガ殘
品物ニ於テ證明サレマシタ場合アリト
假定致シマス、表示額ノ割合デ拂ヒ
マス、五百圓ノ表示ガシテアリマス
レバ二百五十圓拂ハナケレバナラヌ、
所ガ十一條ノ二項ノ規定ニ依リマス
ト、實際ニ證明セラレタ實價ハ五十圓
ダケノモノデアツテ、表示額ノ四百五十
圓ト云フモノハ、全ク超過シタ額デア
ルト云フコトハ、明瞭ニナツタ場合ニ
ハ、二十五圓ダケ拂ヘバ宜イト云フコ
トニナリマス、若シ横山君ノ御議論
通り第一項ダケニシテ置キマス、二
百五十圓拂ハナケレバナラヌコトニナ
ルノデアリマス、其點ヲ考慮致シマシ
テ、即チ他ノ保險其他ノ條項ニ考ヘマ
シテ、其超過シタル部分ノ表示ハ無効
ト、斯ウ云フヤウニシタラ宜カラウト、
斯ウ云フ趣意ニナツタノデアリマス

○横山委員 只今ノ分ハ志賀君ノ説明
デ稍了解シマシタガ、一部減損シタ場
合ニハ先ヅ宜イ、ソレカラソレト同種
ノモノト云フコトニナレバ、比較ヲ取
ツテ明瞭ニ見積レマセウガ、全然無ク
ナツタト云フ場合ハドウ云フ御扱ニナ
リマスカ

○志賀政府委員 鐵道省ニ於キマシテ
——十一條二ノ一項ニ依リマシテ鐵道
省デ證明シナケレバナラヌコトニナリ
マス、證明ガ出來ナカッタ場合ニハ、無
論表示額ヲ拂フノデアリマス、即チ表
示額ノ無効ト云フコトハナイノデアリ
マシテ、全然超過シタ部分ガナイト認
メラル、結果ニナリマス、超過シタ部
分ガ證明セラレタ場合ニ、初メテ二項
ノ適用ガアルノデアリマス

○横山委員 迂遠ノヤウデスガ、二項
ノ「引渡期間末日ニ於ケル」ト云フコト
ハ、是ハ鐵道運輸規程ヲ見レバ分ル
スガ、引渡期間末日ト云フノハ運輸規
程ノ何條ヲ指スノデスカ

○寬政府委員 ソレハ今度改正案ニ據
リマシテ作ルノデアリマシテ、十二條
ノ第一項ニ規定ガアルノデアリマシ
テ、マダ此法律ガ出來マセヌケレバ、運
輸規程ノ改正案ハ出來ナイ譯ニナツ
テ居リマス

○横山委員 實ハ頂戴シタ運輸規程ヲ
見マシタガ、サウ云フコトヲ發見シマ
セヌカラ御尋スルノデスガ、ドウ云
フ規定ヲ御置ニナル積リデアリマス

○寬政府委員 只今鐵道省ノ内規ト致
シマシテヤツテ居リマス所ハ、發送ノ準
備ト致シマシテ、小荷物ニ對シテ一日、
大貨物ニ對シテハ二日、輸送期間ト致
シマシテ、小荷物ハ二百哩毎ニ一日、大
貨物ハ八十哩毎ニ一日、集貨配達ノ爲
ニ各一日ト、斯ウ云フ風ナ内規ヲ作ッ
テ居リマス、内規ト申シマシテモ此内規デ

ハアリマセヌガ、只今引渡期間超過貨物運賃割戻規定ト云フ告示アリマシテ、ソレニ基キマシテ斯ウ云フ風ナ規定ヲ置イテ居リマス、今度ノ運輸規定ガ斯ウ云フ風ニナルトハ此處デハキリ申上ゲラレマセヌガ、之ニ似タヤウナモノヲ置クコトニナリマス、唯腹案デアリマス

○横山委員 腹案デモ宜シイノデスガ、運送品ノ引渡期間末日トハキリ書イテ、即チ其期間ヲ大荷物ニ付テ一日、小荷物ニ付テ一日デスカ……

○寛政府委員 是ハ輸送ノ準備ハ小荷物ガ一日、大荷物ガ二日、實際送ル期間ト致シマシテハ、小荷物ハ二百哩毎ニ一日、大荷物ハ八十哩毎ニ一日ヲ更ニソレニ附加ヘルト云フコトデアリマスカ

○横山委員 ソレハ發送カラシテ運送中ノ日數ハソレデ分リマシタガ、引渡ノ期間末日ト云フコトハ、到著カラ何日位ヲ御置キニナリマスカ

○寛政府委員 到著地ニ著イテ輸送期間満了ノ日ガ即チ引渡期間満了ノ日ニナリマス、詰リ是レダケノモノヲ加ヘマシタ、終ヒノ日ガ期間満了ノ日デアリマス

○横山委員 矢張十一條ノ二項デ「到達地ノ價格及引渡ナキ場合ニ於テ旅客又ハ荷送人ガ受クヘキ其ノ他ノ損害ノ合計額」ト云フコトニナッテ居ッテ、是ダケヲ讀ンダノデハ意味ガ分ラヌガ、ド

ウ云フ場合デスカ

○寛政府委員 此意味ハ到著地ノ價格、加ヘル其他ノ損害、ト斯ウ云フ譯デアリマス、其他ノ損害ト云フモノヲ到著地ノ價格以外ニ加ヘルノデアリマス、例ヘバ百斤ノ米ヲ送ル、何時幾日ニナレバ百斤ノ米ノ價格ニ加ヘルニ、其評價ノ百圓ナラ百圓ノモノヲ送レナカツタラ、百圓ダケノ罰金ヲ更ニ出ス、ソレカラ其米ヲ其時ニ受取ッテ賣レバ百圓位餘計ニ賣レタカモ知レナイ、是ハ定期等ノ關係デ、サウ云フ場合ハ商法デハ嚴格ニ到著地ノ價格ト云ッテ居リマスガ、營業地ノ價格以外ノ損害ヲモ拂フコトニシヤウト云フノガ、是ガ此改正案ノ主タル眼目ダト思ヒマス

○横山委員 サウ致シマスト、要價額ヲ表示スルト云フ、此要價額ノ中ニハ現物ノ時價、ソレカラ尙加フルニ自分ガ他ニ轉賣デモ約束シテ居ル場合ニハ、其因ッテ得ベキ利益、若クハ豫定價金ヲ約束シテ居ル場合ニハ、其豫定價金ヲ主要價額ニ加ヘテ宜シイ、斯ウ云フ意味ニ諒解シテ宜シウゴザイマスカ

○寛政府委員 サウデゴザイマス、全ク御意見ノ通りデアリマス

○横山委員 ソレデハ御尋シマスガ、先刻政府委員カラノ御答ニ、現行ノ鐵道營業法十一條規程ハ十一條ノ二ノ二項ニ讓ッテ居ル、斯ウ云フコトノ御陳述ガアッタノデアリマス、兩者ヲ比較シテ見

マスト云フト、現行法ニハ「物品ノ種類、性質及價格ヲ明示シ且増賃金ヲ支拂ヒタル場合ノ外鐵道ハ損害賠償ノ責ニ任セス但シ鐵道力増賃金ノ支拂ヲ請求セサルニ因リ荷送人ニ於テ其支拂ヲ爲ササルトキハ此ノ限リニアラス」ト斯ウ書イテオイデニナッテ、今度ノ規程デハ「鐵道ハ鐵道運輸規程ノ定ムル最高金額ヲ超エ其ノ減失又ハ毀損ニ因ル損害ヲ賠償スル責ニ任セス」斯ウ云フ風ニ解セラレテ居ルノデアリマスガ、現行法ト今度新シク御書キニナリマシタ十一條ノ二ノ二項トハ、改正ノ特徴ハ何處ニ在ルノデアリマスカ

○寛政府委員 改正案ガ通りマシレバ之ヲ決メナケレバナリマセヌガ、改正案ガマダ通りマセヌカラ決メテ居リマセヌ、併シ唯自分ノ腹案トシテハ高價品ハ一文モ拂ハヌト云フヨリモ、普通ノ品物ヲ取リマシテ、一斤ニ對シテハ十圓ト云フ風ナ重サノ割合デ拂フ規程ヲ置イタラドウカト思ヒマスガ、ソレハ腹案デアリマシテ、玆ニ幾ラト云フコトハ申上ゲル譯ニ參リマセヌ

○横山委員 是ハ極メテ重要ナ事項ニ屬スルノデアリマスカ、其腹案ヲ披瀝シテ諒解ヲ求メラレルコトガ適當デアルト思フノデアリマス

○寛政府委員 増賃金ヲ拂ハナケレバ一文モ拂ハナイト云フノガ現行法デアリマス、今度ハソレヲ一文モ拂ハナイト云フコトハ、餘リ氣ノ毒デアルカラ、或ル程度ノモノハ拂ハヌ、是ダケ荷主ノ方ノ便宜ヲ圖リマシテ、運輸規程ニ依リ最高金額ヲ超エタモノニハ拂ハナイ、併シ最高金額マデハ拂ハウト云フコトニシテ、今度ノ規程ノ方ガ餘程荷主ノ利益ヲ圖ッタノデアリマス、先刻申上ゲマシタ十一條ガ今度ノ規程ニビツタリ合ッテ居ル譯デハアリマセヌガ、十一條ノ二項ニアルヤウナ高價品ノ如キハ改正法ノ十一條ノ二ノ二項ニ規定シタノデアリマス

○横山委員 サウシマスト鐵道運輸規程ニ定ムル最高金額ハドウ云フモノデアリマセウカ

○寛政府委員 改正案ガ通りマシレバ之ヲ決メナケレバナリマセヌガ、改正案ガマダ通りマセヌカラ決メテ居リマセヌ、併シ唯自分ノ腹案トシテハ高價品ハ一文モ拂ハヌト云フヨリモ、普通ノ品物ヲ取リマシテ、一斤ニ對シテハ十圓ト云フ風ナ重サノ割合デ拂フ規程ヲ置イタラドウカト思ヒマスガ、ソレハ腹案デアリマシテ、玆ニ幾ラト云フコトハ申上ゲル譯ニ參リマセヌ

○横山委員 是ハ極メテ重要ナ事項ニ屬スルノデアリマスカ、其腹案ヲ披瀝シテ諒解ヲ求メラレルコトガ適當デアルト思フノデアリマス

○喜安鐵道書記官 一寸私カラ只今ノ事ニ付テ申上ゲタイト思ヒマス、今運輸局長カラ御話シマシタ通りノ趣意デアリマスガ、唯一點ダケ申上ゲテ置キタイコトハ、現在ノ規定ニ依リマスト御承知ノ通り商法デハ高價品ト申シテ居リマスガ、高價品ハ種類價格ヲ明告シナケレバ、損害賠償ノ責ヲ負ハナイコトニナッテ居リマス、ソレカラ鐵道營業法ノ十一條ハモウ一ツ條件ヲ附加ヘマシテ、鐵道ノ請求スル増賃金ヲ拂ハナイ時ニハ、一厘モ拂ハヌ、補償ヲシナイ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、所ガ實際日々鐵道運送ニ付キマシテ實際問題ヲ扱ッテ居リマスルト、譬ヘテ見マスレバ性質カラ言ヒマスト、高價品ト認メラレルモノモ、極端ナ例ヲ申シマスレバ、旅行用ノ鞆ノ中ニ三

錢ノ郵便切手ガ十枚バカリアル、或ハ水牛ノ認印ガ這入ッテ居タト云フヤウナモノハ、性質カラ申シマスレバ高價品ト云フコトニ相成ルノデアリマスケレドモ、唯大キナ行李ノ中ニ價格ニシテ二圓トカ三圓トカ云フモノガ這入ッテ居リマス、ソレデモ賠償ヲシナイト云フヤウナコトハ、非常ニ理窟ハ宜イノカモ知レヌケレドモ、何ダカ常識ガ承知シナイ、斯ウ云フヤウナ感シガ致スモノデアリマスルカラ、今度ノ十一條ハ現行法ノ十一條ノ仕組ヲ變ヘマシテ、要償額ヲ表示シマシタ場合ニハ、表示額迄ハ當然拂フ、表示ヲシナカッタ場合、言換ヘレバ現行法ノ十一條ノ解釋カラ申シマスルト、増賃銀ノ支拂ヲシナカッタ場合、其場合ニハ一厘モ拂ハナクテモ宜イ事ニナッテ居ルケレドモ、運輸規程ノ定メタ一定ノ額迄ハ、假令要償額ノ表示ガナクテモ、隨テ表示料ヲ支拂ッテナクテモ或ル程度ノモノハ拂ッテヤッタ方ガ、實際ノ事情ニ適合スルノデハナイカ、謂ハハ從來法律ガ要求シテ居ル要件ヲ備ヘナイ場合ナドニ於テモ、或ル程度ノモノハ賠償シヤウ、賠償スル責任ヲ鐵道ニ負ハス、斯ウ云フコトデゴザイマス、ソレデ運輸局長カラ先程申シマシタ運輸規程ニ定メマサル最高金額ト云フコトデアリマスルガ、是ハ幾ラニスルノガ宜シイカ、非常ニ問題ダト思フノデアリマスガ、例ヘテ見マスルト、外國ノ例デゴザイマスル

ガ、獨逸ノ規程ナンカデハ慥カ千馬克トナッテ居タト記憶致シマス、千馬克ヲ限度トスル、丁度換算シマスレバ五百圓デアリマスガ、日本デ五百圓迄ハ要償額ノ表示ガナクテモ高價品ニ付テハ拂フト云フ風ニ致シマスルカ、或ハ又運輸局長カラ先程申シマシタヤウニ一基ニ付テ十圓トカ五百圓トカ云フ割合デモウハ最高額ガ五百圓ト云フ風ナニ様ノ制限ヲ置カナケレバナルマイカト思ッテ居ルノデゴザイマスガ、其點ノ額ニ付キマシテハ、一寸此處デ申上ゲラレル程マダ具體的ノ數字ガ出テ居ナイノデアリマス

○横山委員 サウ致シマスト此高價品デアルトカ、或ハ有價證券或ハ貨幣ト云フヤウナモノニ付テハ、矢張此現行法ノ十一條ニアル如ク、物品ノ種類、性質及價格ヲ鐵道省ニ明告ヲシナケレバナラヌト云フ規程ハ、別ニ御置キニナル積リナノデスカ

○喜安鐵道書記官 其點ニ付キマシテハ、別ニ營業法又ハ運輸規程ニ、サウ云フ趣意ノ規程ヲ置カウト云フ意思ハゴザイマセヌ、其點ガ商法ノ三百三十八條デゴザイマスルガ、高價品ニ付テハ運送委託ノ際ニ種類價格ヲ明告シナケレバ、賠償ノ責任ヲ負ハヌトナッテ居リマス、ソレガ働イテ來ルコト、思フノデアリマス、是ハ只今ノ御質問ニ對シテハ、餘計ナコトカモ知レマセヌガ、要償額ヲ表示致シマスル場合ニ、是ハ運

輸規程ノ取扱手續トシテ決メタイト思ッテ居ルノデアリマスルガ、例ヘバ運送所ヘ出ス場合ニハ、運送所ヘハ品物ノ種類トカ、ソレカラ價格ヲ書キマスルカラ、ソレニ依テ商法ガ要求シテ居リマスル要件ガ滿サレルコト、思ヒマス、別ニ改メテサウ云フコトハ規程スル必要ハアルマイト思ヒマス

リマスルカラ、例ヘバ高價品ナラ高價品ニ付キマシテ増賃銀ノ率ヲ決メマヌ、サウ致シマスルト其高價品ノ託送ヲスル人ハ、如何ナル人ニ對シテモ、一應ハ請求スルノデアリマス、併シ相手方ガ拂ハナイト云ヘバソレハソレ迄デアリマス、賠償責任ハ無クナルダケノコトデアリマス、如何ナル場合ニ於テモ、總テ増賃銀ノ支拂ヲ請求スル、デ或人ニハ請求スルガ、或人ニハ請求シナイト云フヤウナ取扱ハ、現在國有鐵道ハ勿論、地方鐵道ニ於テモヤッテ居リマセヌ、ダカラ殆ドアノ但書ニ依リマシテ鐵道ハ請求スルコトガ有ッタリ無カッタルケレドモ、實際ハモウ例外無シニ請求シテ居リマスモノデスカラ、アノ規程ハ取りマシテモ、結局新シイ規程ノ十一條デ置換ッタト御覽下サッテモ差支ナイカト思ヒマス

○横山委員 ソレデ能ク分リマシタ、サウスルト結局商法ノ三百三十八條ノ規程ガアルノニ、十一條ノ如キ無用ノ規程ヲ置イタカラ、法制ヲ統一スル意味ニ於テ、アレヲ除イテ斯ウ改メタシタト云フコトノ趣意ニ諒解ヲ致シマセウ、サウスレバ私御尋シタイノハ、矢張現行法ノ十一條ニハ但書ヲ置イテ、増賃銀ノ支拂ヲ請求セザルニ因リ荷送人ニ於テ其ノ支拂ヲ爲ササルトキハ此ノ限ニアラヌト云フコトニナッテ居リマヌガ、要スルニサウスルト此規程ヲ御

○横山委員 ソコデ又一寸疑ガ起ルノデス、運輸局長ノ御答辯ニ依リマスルト、現行法ノ十一條ハ今度ノ改正案ノ十一條ノ二ノ二項ニ廻シテアルノデアルト云フ御陳述ガアッタノデスカレドモ、一體此十一條ノ一項ト云フモノハ斯ノ如キ貨幣トカ有價證券其他高價品ノ場合、獨リ高價品ノミデハナイ、表示料ヲ拂ッタ時分ニハ、總テ要償額ヲ表示シテ損害ノアッタ時分ニハ、此趣旨ニ基イテ取扱ヒタイ、一般的ニ扱ヒタイ、斯ウ云フ意味ニ於テ私ハ十一條ノ一項ハ

○喜安鐵道書記官 其點ニ付キマシテハ、別ニ營業法又ハ運輸規程ニ、サウ云フ趣意ノ規程ヲ置カウト云フ意思ハゴザイマセヌ、其點ガ商法ノ三百三十八條デゴザイマスルガ、高價品ニ付テハ運送委託ノ際ニ種類價格ヲ明告シナケレバ、賠償ノ責任ヲ負ハヌトナッテ居リマス、ソレガ働イテ來ルコト、思フノデアリマス、是ハ只今ノ御質問ニ對シテハ、餘計ナコトカモ知レマセヌガ、要償額ヲ表示致シマスル場合ニ、是ハ運

○喜安鐵道書記官 其點ニ付キマシテハ、別ニ營業法又ハ運輸規程ニ、サウ云フ趣意ノ規程ヲ置カウト云フ意思ハゴザイマセヌ、其點ガ商法ノ三百三十八條デゴザイマスルガ、高價品ニ付テハ運送委託ノ際ニ種類價格ヲ明告シナケレバ、賠償ノ責任ヲ負ハヌトナッテ居リマス、ソレガ働イテ來ルコト、思フノデアリマス、是ハ只今ノ御質問ニ對シテハ、餘計ナコトカモ知レマセヌガ、要償額ヲ表示致シマスル場合ニ、是ハ運

○喜安鐵道書記官 現行法ノ十一條ニアリマスル但書デゴザイマスルガ、是ハ何カ講釋メイタ話ニナリマスケレドモ、鐵道デハ運送ノ義務ヲ營業法ガ負ハシテ居リマスルニ、運賃其他ノ運送條件ヲ實際公平ニ適用スル、人ニ依テ差別ヲ設ケナイ、荷主ニ依テ差別ヲ設ケナイ、斯ウ云フ精神ガアルモノデア

○喜安鐵道書記官 現行法ノ十一條ニアリマスル但書デゴザイマスルガ、是ハ何カ講釋メイタ話ニナリマスケレドモ、鐵道デハ運送ノ義務ヲ營業法ガ負ハシテ居リマスルニ、運賃其他ノ運送條件ヲ實際公平ニ適用スル、人ニ依テ差別ヲ設ケナイ、荷主ニ依テ差別ヲ設ケナイ、斯ウ云フ精神ガアルモノデア

大原則ヲ定メラレタモノト了解シテ居
ツタノデス、ソレヲ單ニ分ケテ、ソレハ
即チ十一條ノ二ノ二項ノ方ニ變テ、一
項ニ關係ハナイカノ如ク御答辯ニナッ
タノデ、一層疑ガ起ツタ、是ハドウ御考
デアリマスカ

○寛政府委員 若シサウ云フ風ニ御聽
取デアリマシタナラバ甚ダ遺憾デアリ
マシテ、高價品云々ト云フ御話ガアリ
マシタカラ、其特殊ノ高價品ニ付テハ、
十一條ノ二ノ二項ニナッテ居ルト云フ
コトヲ申上ゲタノデアリマス、無論十
一條ハ御意見ノ通り全部ニ適用サレマ
ス、其中デ今ノ増賃銀云々ノ場合モ無
論十一條ニアリマスガ、此十一條ノ二
ノ二項ニ高價品ニ付テノコトガ規定シ
テアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリ
マス、言葉ガ足りマセヌノデ誤解ヲ招
キマシテ甚ダ遺憾デアリマスガ、サウ
云フ積リデナカッタノデアリマス

○横山委員 ソレカラモウ一ツ十八條
ノ二ノ準用規程ニナッテ居ルヤウデア
リマス、即チ三條、六條乃至云々ト云フ
是デアリマス、此準用ノ規程ノ中ニ矢張
十一條ノ即チ今度御改メニナリマシタ
十一條十二條ト云フヤウナモノモ矢張
準用規定ヲ置イテ同一ノ御扱ニナルノ
ガ、至當デハナイカト思フノデスガ、此
分ニ限ッテ十一條十二條ノ例ヲ付サレ
テアルノハドウ云フ譯デスカ

○寛政府委員 第十八條ノ中ニ第六條
乃至第十三條ト書イテアリマスカラ、
無論十一條モ此中ニ這入ル譯デアリマ
ス

○横山委員 是ハ分リマシタ、モウ一
ツ二十七條ノ削除ハドウ云フコトニナ
リマスカ

○喜安鐵道書記官 現行ノ二十七條ハ
「鐵道係員、旅客又ハ荷送人若ハ荷受人
ト通謀シ、運賃ノ一部若ハ全部ヲ免レ
シメタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處
ス」ト斯ウ云フ規定デアリマスガ、是ハ
明治四十三年デゴザイマシタカ、現行
ノ刑法ガ出來マシテ、何條デゴザイマ
シタカ、刑法デ此事實ニ該當シマスル
場合ニハ、當然刑法デ十年以下ノ懲役
ト云フ重イ規定ガアリマス、然ルニ之
ヲ二十七條ヲ置キマスルト云フト、是
ガ特別刑法ト云フコトニナッテ、輕クテ
モ濟ムヤウニ取レル恐レガアリマス

シ、又實際問題トシテサウ云フ主張ヲ
裁判所デ致シタヤウナ事實モアッタサ
ウデアリマシテ、マアソレデ削除致シ
マシタ次第デアリマス

○横山委員 序ニ此四十三條削除ノ理
由

○喜安鐵道書記官 四十三條ハ舊刑事
訴訟法ニ於キマシテハ、禁錮以上ノ刑
ニ當リ、現行犯ハ何人デモ之ヲ引致ス
ルコトガ出來ル——司法警察署ニ引致

スルコトガ出來ルト、斯ウ云フコトニ
ナッテ居リマシタノデスガ、罰金以下ノ
罪ニ當ル者ハ引致ガ出來ナカッタノデ
アリマス、所ガ現行ノ刑事訴訟法ニ於
キマシテハ、刑ノ罪ノ輕重ヲ問ハズ總
テ現行犯デ逃亡ノ恐レカ何カアル者ハ
引致スルコトガ出來ルト云フ規定ニナ
リマシテ、隨ヒマシテ鐵道營業法ノ四
十三條ニ該當致ス場合ニハ、鐵道係員
ニ限ラズ總テ一般ノ人デモ引致ガ出來
ルヤウニナリマシタ、其結果不用ニナッ
タノデアリマス、ソレデ削リマシタ

○横山委員 此十三條デゴザイマス
ガ、即チ引渡期間滿了後一月ヲ經過シ
タル云々トゴザイマス、是ハ此規定ハ
十一條ノ表示額トゴザイマスル場合
ニモ、總テヲ律スルト云フ意味ノ規定
デゴザイマスカ

○寛政府委員 御意見ノ通りデアリマ
ス

○横山委員 此十三條ヲ見マス、縱
シ品物ガアッテモ一箇月ヲ經タ時分ハ
賠償ノ方法デ救済ガ求メラレルト云フ
趣意ダラウト思ヒマスガ、若シソレデ
ゴザイマスルナラ一體十三條ノ此一項
ノ但書ハ要ラス等デアリマス

○寛政府委員 是ハ不可抗力ニ基キマ
シテ鐵道ガ引渡ノ出來得ナイ場合ヲ掲
示シタ譯デアリマス、詰リ鐵道ノ責ニ
歸スベキ事由ニ依ッタ場合ガ本務デア

リマシテ、不可抗力ノモノガアル、山崩
レガアッテ通レナイト云フ風ナモノハ
但書ノ方ニナル譯デアリマス

○横山委員 ソレハ私ハ無用ノ規定デ
ハナイカト思フ、鐵道ノ責ニ歸スベカ
ラザルモノハ無論不可抗力ハ當然ノコ
トデ斯ウ云フ無用ナ規定ヲ書クト云フ
コトハ贅物デハアリマセヌカ

○喜安鐵道書記官 横山サンノ御意見
ノ通りナノデアリマシテ、實ハ内輪ノ
事情ヲ申シマスレバ、サウ云フヤウナ
要ラナイデハナイカト云フ話モアッタ
ノデアリマス、所ガ此本文ヲ見マス
「鐵道カ引渡期間滿了後一月ヲ經過ス
ルモ託送手荷物又ハ運送品ノ引渡ヲ爲
ササル場合」ト書イテアリマシテ、其爲
サザル原因ガ鐵道ノ責ニ歸スベカラザ
ル事由ニ依タカ、又責ニ歸スベキ事由
ニ依タカ區別ガシテナイ、サウ云フ場
合ニハ當然賠償ノ責ヲ負フト、斯ウ云
フ風ニナルト十三條ノ規定ハ商法ノ運
送人ノ賠償責任ニ關スル原則ノ特別規
定ヲ設ケタモノデアアル、隨テ是ハ昔ト
同ジ責任ヲ負ハシテ居ルモノデアアル
ト、斯ウ云フ風ナ解釋ヲサレル虞ガア
ル、斯ウ云フ懸念ガアリマシタモノデ
スカラ、但書ヲ附加ヘテ念ノ爲ニサウ
云フ意味デナイト云フコトヲ現ハシタ
積リナノデゴザイマス

○横山委員 解釋規定ト云フナラバン

レデモ通レマスガ、併ナガラ其場合ハ引渡ヲ爲サザル場合デハナイノデス、爲ス能ハザル場合デスカラ、爲サザル場合ト爲ス能ハザル場合ヲ區別スレバ、斯ウ云フ條文ハ要ラス、商法ノ規定デ不可抗力ノ場合ハ責任ガナイト云フコトハ認メテアル、益々以テ贅文ナルコトヲ斷定ヲ下スニ躊躇シナイ

○喜安鐵道書記官 ドウモ御話ノ通りノヤウニモ取レルノデゴザイマスケレドモ、引渡ヲ爲サザル場合ト云フノト、爲スコト能ハザル場合ト云フノト、サウ云フ風ニ横山サンノヤウニ正確ニ御解釋下サレバ宜シイノデスケレドモ、色々又裁判所へ持出シマシタ場合ニモ、サウ云フ風ニ解釋サレナイデ鐵道ニ絶對ノ責任ヲ負ハシタモノデアルト云フ風ナ解釋ガ行ハレルヤウニナリマスト困ル、斯ウ云フ意味デ但書ヲ附加ヘタ譯デアリマス

○志賀政府委員 一寸補足ヲシテ置キマスガ、實ハ案ヲ作りマス時ニモ色々議論ガアリマシテ、爲スコト能ハザル場合ト書ケバソレデ宜シイト云フ意見モアッタノデアリマス、併ナガラ爲サザル場合トシテ但書ヲ置キマシタノハ、今申シマシタ通り裁判所デハ左様ナ間違ハアリマスマイケレドモ、此規定ヲ利用シテ殊更ニ訴訟ヲ起スト云フヤウナ弊害モ世ノ中ニハアルノデゴザイマス

カラシテ、左様ナ争ヲ止メマスケレトハ、寧ろ無用ナル規定デモ置イテ置ケバ、社會ノ爲ニ宜シカラウト考ヘマシテ、無益ノ争ヲ絶ツヤウニ此規定ヲ置イタト云フ趣意ニ御承知ヲ願ヒマス

○横山委員 此十二條ノ二項ニ「延著ニ因ル損害ニ付賠償ノ責ニ任スル場合ニ於テハ鐵道ハ左ノ額ヲ限度トシテ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依リ一切ノ損害ヲ賠償スル責ニ任ス」トアリマス、其一切ノ損害ト云フノハドウ云フコトヲ意味スルノデスカ、字句ノ意味ヲ一ツ、ドウ云フ場合ヲ想像スルノデスカ

○喜安鐵道書記官 是ハ實ハ商法ノ條文ヲ眞似テ致シマシタノデゴザイマシテ、御承知ノ通り商法デハ運送人ガ賠償スベキ額ハ滅失ノ場合ニハ到達地ノ價格ト云フコトニナッテ居リマスルガ、運送人ニ惡意又ハ重大ナル過失ガアリマス場合ニハ、一切ノ損害ヲ賠償スル責ニ任ズル、斯ウ云フコトニ商法ガナッテ居ルモノデアリマスノデ、其字句ヲ眞似マシタノデアリマシテ、之ヲ言葉ヲ換ヘテ申シマスケレバ、民法ノ四百十六條ニ依ル損害賠償ノ額ト云フコトニ歸著スルノデハナイカト思ハレルノデアリマス

害ヲ目的トスル、特別ノ事情ニ因ッテ生ジタモノデモ、豫見シ又ハ豫見スルコトヲ得ベカリシモノダケト云フコトニナツテ居リマス、一體サウ云フコトハ民法ニ規定ガアッテ、民法ノ規定ト同一ノモノデアルト云フコトニナレバ、茲ニ殊更ニ斯ウ云フモノヲ御書キニナル必要ハナイト思フ、ソレカラ尙序ニ進ンデ尋テ置キマスガ、左ノ額ヲ限度トシトアッテ「一要償額ノ表示アルトキハ其ノ表示額」ト云フノハ第十一條ノ適用ダラウト思ヒマス、「二要償額ノ表示ナキトキハ其ノ運賃額」ト斯ウ云フ工合ニ、一方ハ要償額ノ表示料ガ拂ッテアレバ、表示額ダケ拂フ表示料ガ拂ッテナケレバ運賃ダケト云フコトハ、ドウ云フ思想カラ斯ウ云フ極メテ懸隔ノアル規定ガ出來テ來タノデスカ、由テ來ル精神ヲ教ヘテ戴キタイ

○喜安鐵道書記官 初ノ問題ノ方ノ民法ニ規定ガアレバ態此處ヘ斯ウ云フコトヲ規定スル必要ハナイデハナイカト云フ御質問デゴザイマシタガ、先程私ノ申上ゲマシタノガ少シ言葉ガ足りナカッタカモ知レマセヌガ、御承知ノ通り運送人ノ運送品ノ延著ニ因ル損害デアリマス、延著ノミニ因ル損害ヲ賠償スル場合ニ、如何ナル額ヲ賠償スベキカト云フコトニ付キマシテハ、學者間ニモ色々ナ説ガゴザイマス、商法ノ何條

ノ規定ガソレヲ現シタモノデアルトカ、又或ル學者ニ言ハセマスルト、延著ニ因ル損害賠償ニ付テハ、民法ノ四百十六條ガ當然適用ガアルノダト、斯ウ云フ風ニ解シテ居ル學者モアルヤウデアリマス、ソレカラ又他方ニ於キマシテハ、延著ノ場合ニハ引渡シアルベカリシ日ノ價格ト現ニ引渡ガアッタ日ノ價格トノ間ノ差額、詰リ價下リダケヲ賠償スレバ宜イノデアルト云フ風ニ解釋シテ居ル學者モアルヤウデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ矢張商法上ノ問題ト致シマシテモ、恐ラク將來ト雖モ未決ノ問題トシテ殘ルベキ點デナイカト思ハレルノデアリマス、デサウ云フ風ニ疑義ノアル點ヲ鐵道運送ニ於キマシテモ、疑義ノ儘デ放任スルト云フコトハ、法律關係ヲ成タケ簡單ニ片付ケテ行カウト云フ主義ト一致シナイモノデアリマスルカラ、ソレデ商法上

デハ如何ナル賠償ヲ拂フベキモノトナツテ居ルカハ姑ク別ト致シマシテ、營業法ニ於キマシテハ、是々ノ額ヲ限度トシテ、其範圍内デ總テノ損害ヲ拂フ、例ヘバ一派ノ學者ガ説明シテ居リマスル如ク、引渡シアルベカリシ日ノ價格ト、引渡シタ日ノ價格トノ差額ニ止ラズ、ソレ以上ニ尙損失ガアルナラバ、ソレモ賠償シテヤラウ、斯ウ云フ意味ニ致シマシタノデアリマス、ソレカラ

○横山委員 是ハ民法ノ四百十六條ハ債務ノ不履行ニ因リテ通常生ズベキ損害ヲ目的トスル、特別ノ事情ニ因ッテ生ジタモノデモ、豫見シ又ハ豫見スルコトヲ得ベカリシモノダケト云フコトニナツテ居リマス、一體サウ云フコトハ民法ニ規定ガアッテ、民法ノ規定ト同一ノモノデアルト云フコトニナレバ、茲ニ殊更ニ斯ウ云フモノヲ御書キニナル必要ハナイト思フ、ソレカラ尙序ニ進ンデ尋テ置キマスガ、左ノ額ヲ限度トシトアッテ「一要償額ノ表示アルトキハ其ノ表示額」ト云フノハ第十一條ノ適用ダラウト思ヒマス、「二要償額ノ表示ナキトキハ其ノ運賃額」ト斯ウ云フ工合ニ、一方ハ要償額ノ表示料ガ拂ッテアレバ、表示額ダケ拂フ表示料ガ拂ッテナケレバ運賃ダケト云フコトハ、ドウ云フ思想カラ斯ウ云フ極メテ懸隔ノアル規定ガ出來テ來タノデスカ、由テ來ル精神ヲ教ヘテ戴キタイ

要償額ノ表示ガアル場合ハ、其表示額、
是ハ宜シイガ、要償額ノ表示ガナイ場
合ニハ其運賃額、運賃額ト云フ制限ヲ
置イタ、是ハ只今申シマスル通り、要償
額ノ表示ガナカッタ場合ニハ、矢張今申
シタヤウナ民法ニ依ルノカ、或ハ到達
地ニ於ケル價格ノ差額ニ依ルノカ、ソ
レ等ノ疑問ガアルノミナラズ、要償額
ノ表示ガナイ場合ニ於キマシテハ、先
ヅ鐵道モ運賃額ダケ賠償致シマシテ、
只働キニナツタト云フコト止メル、ソ
レカラ荷主ノ側モ先ヅ只運シテ貰ッ
タノデ、外ニ損ハアルケレドモ我慢シヤ
ウ、兩方デ持寄りデ一ツ我慢シヤウデヤ
ナイカト云フノガ、此案デアリマシテ、
或ハ御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌケ
レドモ、ドウモ鐵道デ凡テノ場合ニ運送
ノ期間ヲ保障スルコト云フコトハ、今日ノ
鐵道發達ノ程度ニ於キマシテハ、少シ無
理ナ註文デナイカ、斯ウ云フ考カラ致
シマシテ、運賃額デ制限スルコトニ致シ
マシタ、尙是ハ念ノ爲ニ申上ゲテ置キタ
イノデスガ、其事ハ決シテ日本ノ鐵道デ
新ニ考ヘ出シタ問題デハナイノデアリ
マシテ、御承知ノ歐羅巴大陸ニ於キマ
シテ國際運送ヲ規律シマスル所ノ條約
デアリマスルガ、其條約ニ於キモシテモ
此通り實ハ決メテ居ルノデアリマス、歐
羅巴大陸ノ國際運送ニ限ラズ、内國運
送ニ於キマシテモ、獨逸ダトカ奧地利

ダトカ云フヤウナ所ハ、總テ此主義ニ
依テ居ルノデアリマス、ソレデマア眞
似シタトデモ申上ゲテ宜シイダラウト
思ヒマス
○横山委員 サウ致シマスト、此二項
ハ「要償額ノ表示ナキトキハ其ノ運賃額」
ト云フノデアリマスガ、其次ニ「前項ノ
賠償額ノ制限ハ託送手荷物又ハ運送品
カ鐵道ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ
テ延著シタル場合ニハ之ヲ適用セス」
トアルノデテリマスカラ、故意若クハ
過失ノ時ニハ實害金ヲ拂ウ、斯ウ云
フ意味ニ解釋シテ宜シウゴザイマス
カ
○喜安鐵道書記官 其通りデゴザイマ
ス

或ハ御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌケ
レドモ、ドウモ鐵道デ凡テノ場合ニ運送
ノ期間ヲ保障スルコト云フコトハ、今日ノ
鐵道發達ノ程度ニ於キマシテハ、少シ無
理ナ註文デナイカ、斯ウ云フ考カラ致
シマシテ、運賃額デ制限スルコトニ致シ
マシタ、尙是ハ念ノ爲ニ申上ゲテ置キタ
イノデスガ、其事ハ決シテ日本ノ鐵道デ
新ニ考ヘ出シタ問題デハナイノデアリ
マシテ、御承知ノ歐羅巴大陸ニ於キマ
シテ國際運送ヲ規律シマスル所ノ條約
デアリマスルガ、其條約ニ於キモシテモ
此通り實ハ決メテ居ルノデアリマス、歐
羅巴大陸ノ國際運送ニ限ラズ、内國運
送ニ於キマシテモ、獨逸ダトカ奧地利

○横山委員 サウ致シマスト、此十二
條ノ一項ニ立戻リマシテ、一項ニハ「引
渡期間満了後託送手荷物又ハ運送品ノ
引渡ヲ爲シタル場合ニ於テハ延著ト
ス、引渡期間ハ鐵道運輸規程ノ定ムル
所ニ依ル」斯ウ書イテアツテ、其次ニ「延
著ニ因ル損害ニ付云々」トアルノデス
カラ此場合ハ此二項ノ延著ニ因ル損害
ハ手荷物ナリ運送品ハ確實ニ荷受人ノ
手ニ渡ッタモノト云フコトヲ前提トシ
ナケレバナラス、サウ云フ場合ニ於テ、
一體要償額ノ表示アルトキハ其表示額
ヲ拂フト云フコトハ、十一條ノ二項ノ
現物ノ價格若クハ其現物ニシテ或ハ轉

賣其他ノ關係デ、何等カノ損害ガ生ジ
テ來タ、斯ウ云フモノガ表示額ノ中ニ
加ツテ表示サレテ居ル其部分、斯ウ云
フコトニ諒解シテ宜イノデアリマス
カ
○寬政府委員 ソレハサウ云フコトハ
兎ニ角第二項ニアリマス通り、鐵道運
輸規程ノ定ムル所ニ依ルト云フ鐵道運
輸規程ノ是等ノ定メ方ニ依リタイと思
ヒマス、茲ニ表示額ト書イテアリマス
ガ、是ハ最高額デアリマスケレドモ、法
律デハソレヲ認メテ置キマシテ、ソレ
カラ運輸規程デハソレニ對シテ非常ナ
階段ヲ設ケテ、一日遅レタラ此表示額
ニ對シマシテ百分ノ一トカ、二日遅レ
タラ、ソレノ倍、五日以上ニナツタラ百
分ノ五トカ云フ階段ヲ置キマシテ運輸
規程ヲ定メタイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居
リマスガ、此場合表示額全部ヲ拂フ規
定デハゴザイマセヌ、ソレカラ箇々ノ
證明ガアリマスレバ、其證明額ヲ拂ヒ
マスガ、若シ證明ガナイ場合ハ階段ヲ
置イテ拂ヒタイ、斯ウ云フ考デ居リマ
ス

○横山委員 私ノ聞クノハサウデナ
イ、此十二條ノ三項ノ一號ニハ要償額
ノ表示アルトキハ其表示額ヲ拂フト書
イテアル、而モソレハ鐵道運輸規程ノ
定ムル所ニ依リトアリマスガ、スルト
表示額ト云フモノハ即チ十一條ノ表示

料ヲ支拂ヒ要償額ヲ表示シタ其モノヲ
指スノデアリマスガ
○志賀政府委員 其通りデス
○横山委員 サウスルト既ニ現物ハ引
渡サレテ延著ダケノ關係デアルノニ、要
償額ノ表示アルトキト云フ此文字ヲ御
出シニナル其要償額ハ、現物ノ價格ヲ
除イテ、要償額ノ中ニ其他ノ損害ヲ計
量シテ表示シタル場合ヲ想像シナケレ
バ、此場合要償額ヲ表示シタル時ト云
フコトガ出テ參リマセヌカラ、ソレヲ
御尋致シマス

○喜安鐵道書記官 御尤ナ御質疑デア
ルト存ジマスガ、實ハ十一條ニ依リマ
スト、要償額ヲ表示シマスル場合ハ、普
通ノ場合ヲ考ヘマスレバ、恐ラク荷送
人ハ全部滅失シタル場合ヲ豫想シタ最高
限ノ金額ヲ見積ツテ、實際問題トシテハ
表示スルデアラウト思ヒマス、サウ致
シマスト、ソレガ果シテサウ云フ風ナ
表示ヲシタト致シマスト、ソレヲ十二
條ノ所ニ持ッテ行キマシテ、今仰セニナ
リマス如ク、延著ヲシタケレドモ品物
ハ何等傷マナイ、唯遅レタツケデアル、
一週間ナラ一週間遅レタツケデ、品物
ハ完全ナル狀態ニ於テ引渡シタト云フ
場合ニモ、延著ハ延著デアアルガ、其場合
ニモ全部滅失シタ時ヲ豫想シテ見積
ツタ額ヲ拂フト云フコトニナリマス、
仰セノ如ク非常ニ妙ナ結果ニ相成ルノ

デアリマスケレドモ、十二條ノ三項ハ、延著ニ因ル損害ニ付賠償ノ責ニ任ズル場合ニ於テハ鐵道ハ左ノ額ヲ限度トシテ賠償スルト云フ額ガ一ト二トニ分レテ居リマシテ、ソレガ最高限ニナルト云フダケデアリマス、如何ナル額ヲ拂フカト云フコトハ、運輸規程ニ於テ更ニ詳細ニ決メルノダ、斯ウ云フコトニ十二條ノ三項ハナッテ居ルデアリマス、運輸規程ニ於キマシテハ先程運輸局長カラモ申シマシタ通りニ、ドウ云フ風ニ決メルカ極ク大體ノコトヲ申上

合ト云フデアリマスケレドモ、サウスルト延著ニ因ル損害ト云フモノハ、實例デハドウ云フ場合ヲ想像スレバ宜イノデセウ、私ハ素人デスカラ一ツ分ルヤウニ御願致シマス

ラ、私ハ條文ノ點ニ付テハ御伺ヲ省キマス、多少問題ガ離レルカモ知レマセヌケレドモ、此鐵道營業法ニ關聯ヲ致シマシテ、二三御伺ヲ致シタイト思フノデアリマス、少シ問題ハ離レマシテモ、委員長ニ於カレマシテハ寛大ナル心持ヲ以チマシテ、本員ノ質問ヲ御許アラシコトヲ豫メ御願シテ置キマス、現行法ノ二十六條ニ「鐵道係員旅客ヲ強ヒテ定員ヲ超エ車中ニ乗込マシメタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス」ト云フ條文ガアリマス、實際吾々が朝或ハ午後五時頃、所謂「ラッシュアワー」ニ山手線アタリノ電車ニ乗リマシト云フト、非常ナル混雜ヲ極メマシテ、中々乗込メナイノデアリマスケレドモ、係員ハ強ヒテ吾々ヲ乗セ込メマシテ、サウシテ箱詰ニ致シマシテ恰モ

督局長ニ對スル御質問カトモ思ヒマスガ、國有鐵道ノ場合デモ宜シウゴザイマス

若シ要償者ガ損害額ヲ立證スルコトガ出來ナイ場合ニハ一厘モ拂ハナイカト申シマス、ソレハ少シ酷デアルカラ、或ハ運賃額ヲ限度トシテ延著日數ニ應ジマシテ、一日遅レタ場合ニハ運賃ノ一割トカ、或ハ十日遅レタ場合ニハ運賃額トカ、損害ノ額ヲ證明シナイデモ要償額ノ表示アル時ニハ、或ル程度ノモノヲ拂ッテヤラウ、斯ウ云フ腹案ガアルト云フコトヲ、先程運輸局長ガ申上

○喜安鐵道書記官 鐵道デ始終問題ニナリマス延著ト損害トハ例ヘバ、魚ガ遅レテ腐ッタト云フ場合、是ハ單純ナ延著デアリマセヌカラ、暫ク別ニ致シマスガ、例ヘテ見マスト魚場カラ魚ノ市ノ立ッ町ニ魚ヲ送ル、ソレガ朝市ニ間ニ合ハス積デ送ッタ所ガ、鐵道ノ過失ニ依テソレガ遅レテ魚ハ腐ラナイケレドモ、朝市ニハ間ニ合ハナカッタ、朝市ハ相當値段ガ高イモノデアルケレドモ、夕市ニナリマスト値段ガ下ル、サウ云ヤフウナ場合ニ於キマシテ、其値下リト云フモノハ、延著ニ因ッテ生ジタ損害デアアル、サウ云フ場合ヲ御想像下サイ

マシレバ最モ分リ易イ場合ト存ジマス

○岸委員 今ノ御答デアリマスルケレドモ、實際ニ科料ニ處セラレタ者ガアルノデアリマス、其點ヲ御尋シテ居

○若宮委員長 岸君、監督局長モ御出席ニナッテ居リマスカラ、御質疑ヲ願ヒマス

○岸委員 今同時代ノ推移ニ從ヒマシテ鐵道營業法ノ改正ヲ見タノハ或ハ當然ノコトカトモ存ジマス、又今ノ條文ノ解釋ニ付キマシテハ、只今横山先輩カラ縷々詳細ニ御尋ニナリマシタカ

○岸委員 今ノ御答デアリマスルケレドモ、實際ニ科料ニ處セラレタ者ガアルノデアリマス、其點ヲ御尋シテ居

○岸委員 今ノ鐵道係員ガ乗客ノ心持ヲ酌ンデ乗車セシムルト云フコトハ、法規ニ拘泥シナイデ常識的ノ遣リ方トシテ洵ニ結構ナコトデアリマスルガ、併シアノ列車ノ中ニハ男ト言ハズ、妙

○横山委員 ドウモ意味ガ能ク分リマセヌガ、延著ニ因ル損害ヲ賠償スル場

○岸委員 今同時代ノ推移ニ從ヒマシテ鐵道營業法ノ改正ヲ見タノハ或ハ當然ノコトカトモ存ジマス、又今ノ條文ノ解釋ニ付キマシテハ、只今横山先輩カラ縷々詳細ニ御尋ニナリマシタカ

○岸委員 今同時代ノ推移ニ從ヒマシテ鐵道營業法ノ改正ヲ見タノハ或ハ當然ノコトカトモ存ジマス、又今ノ條文ノ解釋ニ付キマシテハ、只今横山先輩カラ縷々詳細ニ御尋ニナリマシタカ

○岸委員 今同時代ノ推移ニ從ヒマシテ鐵道營業法ノ改正ヲ見タノハ或ハ當然ノコトカトモ存ジマス、又今ノ條文ノ解釋ニ付キマシテハ、只今横山先輩カラ縷々詳細ニ御尋ニナリマシタカ

○岸委員 今同時代ノ推移ニ從ヒマシテ鐵道營業法ノ改正ヲ見タノハ或ハ當然ノコトカトモ存ジマス、又今ノ條文ノ解釋ニ付キマシテハ、只今横山先輩カラ縷々詳細ニ御尋ニナリマシタカ

○岸委員 今同時代ノ推移ニ從ヒマシテ鐵道營業法ノ改正ヲ見タノハ或ハ當然ノコトカトモ存ジマス、又今ノ條文ノ解釋ニ付キマシテハ、只今横山先輩カラ縷々詳細ニ御尋ニナリマシタカ

○岸委員 今同時代ノ推移ニ從ヒマシテ鐵道營業法ノ改正ヲ見タノハ或ハ當然ノコトカトモ存ジマス、又今ノ條文ノ解釋ニ付キマシテハ、只今横山先輩カラ縷々詳細ニ御尋ニナリマシタカ

○岸委員 今同時代ノ推移ニ從ヒマシテ鐵道營業法ノ改正ヲ見タノハ或ハ當然ノコトカトモ存ジマス、又今ノ條文ノ解釋ニ付キマシテハ、只今横山先輩カラ縷々詳細ニ御尋ニナリマシタカ

齡ノ婦人マデモ押込メラレルノデアリマス、其間男女ガ非常ニ近接ヲ致シマシテ、風俗壞亂ニ互ルヤウナ場面モ屢アル、是ハ事實私共目撃シテ居ル、斯ウ云フヤウナ場合ガ屢生ズルノデアリマスルカラ、風紀ノ取締ノ上カラ言ヒマシテモ、餘リ澤山定員以上ノ乗客ノ惡イ方ノ心持マデモ酌ンデ押込メナサルト云フコトハ私ハドウカ知ラント思フノデアリマスガ、將來當局ハ是等ノ監督ニ付テ、ドウ云フ御考ヲ持タレマスカ若クハ婦人専用列車ト云フヤウナモノデモ御造リニナリマシテ、此邊ノ緩和ヲ圖リ、且ツ又風紀ノ紊亂ヲ防グト云フヤウナ御考ハ持タレナイデアリマセウカ、御尋シテ置キマス、是ハ出來ルナラバ志賀參與官カラ御答ヲ得マスレバ結構デアリマス

○志賀政府委員 只今岸君ノ御尋ノ御趣旨ハ至極御尤デアリマス、當局ト致シマシテモ、實ハ此混雜ニ付キマシテハ非常ニ憂慮致シマシテ、色々ノ研究調査ヲ重ネテ居ルノデアリマス、御尋ノ婦人専用車ノ點モ屢議ニ上ツテ居ルノデアリマスガ、マダ之ヲ實行スベキ運ビニ至リマセヌコトハ遺憾ニ心得テ居ルノデアリマス、時代ニ應ジマシテ是非共左様ナ運ビニマデ至リタイト云フコトデ今調査研究中デアリマス、成ベク早く成案ヲ得テ斯様ナル混雜、斯様ナ風紀頹廢ノ狀態ナカラシメンコトヲ希望致シテ居ル次第デアリマス

○岸委員 只今ノ點ハ能ク諒承致シマシタ、次ニ御尋シタイノハ、列車内ノ設備デアリマスルケレドモ、ドウモ列車内ノ設備ガ甚ダ完備シテ居ラヌ、例ヘバ食堂車ノ如キモ急行ニノミ限ツテ、普通列車デアレバ食堂車ハ附イテ居ラヌ、隨テ飲食ヲ致シマスルノニモ、普通ノ自分ノ客車ノ中デ飲食ヲスルト云フコトニ相成ルノデアリマシテ、非常ニ列車内ノ秩序ヲ紊ス虞ガアルノデアリマス、特ニ遊覽車トデモ申シマセウカ、例ヘバ熱海行ト云フヤウナ鐵道ノ汽車ノ中デハ團體ガ乗込ミマシテ盛ニ客室デ以テ飲酒ヲ致シマス、群集心理ノ結果ハ醉亂ノ結果、他ノ乗客ニ對シテ非常ナル迷惑ヲ與ヘルト云フコトガ屢アル、團體ノ心持ハソレデモ宜イカモ知レマセヌケレドモ、他ノ遊覽客ハ少ナカラザル迷惑ヲ蒙ルノデアリマスルガ、此點ニ付キマシテ當局ハ普通列車ニモ食堂ヲ附シテ、其食堂内ニ於テノミ飲食ヲ許スト云フヤウナ御考ヲ持ッテ欲シイト思フノデアリマスルケレドモ、果シテ當局ハサウ云フヤウナ御考ヲ御持ニナツテ居リマセウカ、又サウ云フヤウナ設備ヲ爲サル御意思ハナイデアリマセウカ、御尋ヲシテ見タイト思ヒマス

○寛政府委員 只今ノ御話ノヤウニ設備ガ出來ルダケ完全ニナルト云フコトハ、當局ト致シマシテモ洵ニ喜バシイコト、思ヒマスルガ、ソレハ程度ノ間

題デアリマシテ、現今ニ於ケル所ノ日本ノ鐵道ノ列車ノ設備ト外國ノ鐵道ノ列車ノ設備ト比ベマシテ、日本ノハ左程遜色ハナイト考ヘル、外國ノ一般列車ニ於キマシテモ、ソレ程食堂車ガ附イテ居ラヌ、又列車内デハ飲食サセナイヤウニト云フ御話ガアリマシタガ、縱令食堂車ヲ附ケマシテモ其列車内デ飲食ヲサセルト云フコトハ、世界各國行ハレテ居ルコトデ、ソレ程マデニ旅客ノ自由ヲ束縛スルト云フ考ハ只今持ツテ居リマセヌ

○岸委員 只今ノ御說デハ、世界各國行ッテ居ルカラ日本デヤツテモ惡クハナイデヤナイカト云フヤウナ御意見ニモ伺ハレマスルケレドモ、外國人ハ人ノ前ニ出テ相當禮節ヲ知ッテ居リマスルカラ、醉餘他ノ乗客ニ迷惑ヲ掛ケルト云フヤウナコトハナイノデアリマス、皆是ハ乘客道德トデモ申シマセウカ、サウ云フ道德ヲ重ンジテ居リマスカラ、他ノ人ニ迷惑ヲ掛ケルト云フコトハナイ、然ルニ日本ノ乘客ニ於キマシテハ、隨分泥酔ヲ致シマシテ、他人ニ喧嘩ヲ吹掛ケタリ、或ハ車内デ喧噪ヲ極メ、吾吾ハ屢迷惑ニ打突カッテ緊切ニ此問題ヲ感ジテ居ルノデアリマスカラ、出來得ベクンバ、將來ニ於キマシテ、此客車内ニ於テ食事ヲスルコトハ差支ナイト致シマシテモ、飲酒ダケハ御禁止下サルヤウニ、丁度煙草ヲ普通ノ電車ノ中デハ御許ニナラヌト同ジャウニ、酒ヲ

普通ノ客室デ飲マセルト云フコトダケハ、將來御控ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、果シテ當局ニ於キマシテハ、之ニ對シテドウ云フ御感想ヲ御持デアリマセウカ、是モ志賀參與官カラ明晰ナル御答ヲ伺ヒマスレバ結構デアリマス

○志賀政府委員 一體事務上ノ事ハ甚ダ不慣デアリマシテ、吾々ト致シマシテハ一ニ事務當局ノ遺方ニ信賴ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、如何ニモ岸君ノ御尋ノヤウナ場合ハ、吾々モ屢目撃致シマシテ苦々シク感ジテ居ルノデアリマス、併ナガラ之ニ付キマシテハ、實ハ當該車掌其他ノ乗務員等ニ命ジマシテ、其點ニ於テハ十分ナ警戒ヲ致シテ居リマシテ、或ル場合ニ於テハ泥酔シタル人ニハ、寧ロ其人ヲ保護スル意味ニ於テ下車ヲセシメルト云フヤウナ場合モ時ニハアルノデアリマス、十分注意致シテ居ルノデアリマスガ、何分中デ飲ミマセヌデモ、餘所デ飲ンデ參ッタ、例ヘバ熱海デ一杯飲ンデ車ニ這入ッテ來ルヤウナ人ニアリマシテハ如何トモ仕方ノナイヤウナ場合ガ往々ニシテ起ルノデアリマスガ、斯様ナ場合ニ於キマシテハ、當該乘務員ニ於テ之ヲ取締ルヨリ致方ガナイ、十分其點ニ於テハ警戒ヲ致シテ居ル次第デアリマス、時代ノ變遷ニ從ヒマシテ、或ハ又左様ナ人ハ驛ニ於キマシテ寧ロ乗車ヲ禁ズルト云フ方法モ、法律上出來ルノデア

ルノデア

リマスカラシテ、是ハサウモシナケレ
バナラヌ場合モアルデアリマセウケレ
ドモ、マダ現在ノ日本ノ社會狀態ト致
シマシテハ、ソレ程嚴格ニヤルト云フ
コトハ、必シモ十分必要デアル行爲デ
アツタト致シマシテモ、勵行スル迄ニ至
ル社會的立場デハナイト考ヘラレルノ
デアリマスカラ、十分注意ハ致シテ居
ルノデアリマス、將來ト雖尙此點ニ付
テハ注意ヲ怠リマセヌ、常務員等ヲ督
勵致シマシテ、他ノ乘客ニ迷惑ヲ與ヘ
ザラシムルヤウニ努ムルコトニ致シタ
イト考ヘテ居リマス

○若宮委員長 只今折角御質疑中デ恐
縮デアリマスケレドモ、本會議ノ方デ
肥料管理案ガ採決ニ近付イタト云フコ
トデアリマス、大分午前ヨリ御勉強ヲ
願ウテ、岸君ニハ甚ダ御迷惑トモ思ヒ
マスガ、是ニテ散會致シマシテ、明日
午後一時ヨリ開會致シタイト思ヒマ
ス

午後四時三十一分散會

昭和四年三月十五日印刷

昭和四年三月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社